

令和6年4月26日（金）
厚生労働省青森労働局発表

【照会先】

青森労働局労働基準部健康安全課
課長 吉田 義人
主任安全専門官 小枝 健人
(電話) 017 - 734 - 4113

報道関係者 各位

令和5年における労働災害発生状況について

～依然として1,400人台の高水準の状態～

- ◎ 死傷者数（※）（新型コロナウイルス感染症り患を除く）
 - **3年連続で1,400人台**、依然として平成13年（1,527人）以来の高水準の状態
 - **高齢労働者（50歳以上）の死傷者数が全死傷者数の6割以上**（60.5%）
 - **転倒災害の死傷者数が最も多く、全死傷者数の3割以上**（31.9%）
 - 典型的な被災事例** ☞ **60歳以上の女性労働者が転倒して骨折し1～3か月休業**

- ◎ 死傷者数（※）（新型コロナウイルス感染症り患を含む）
 - 1,789人と前年に比べ1,591人（47.1%）の減少

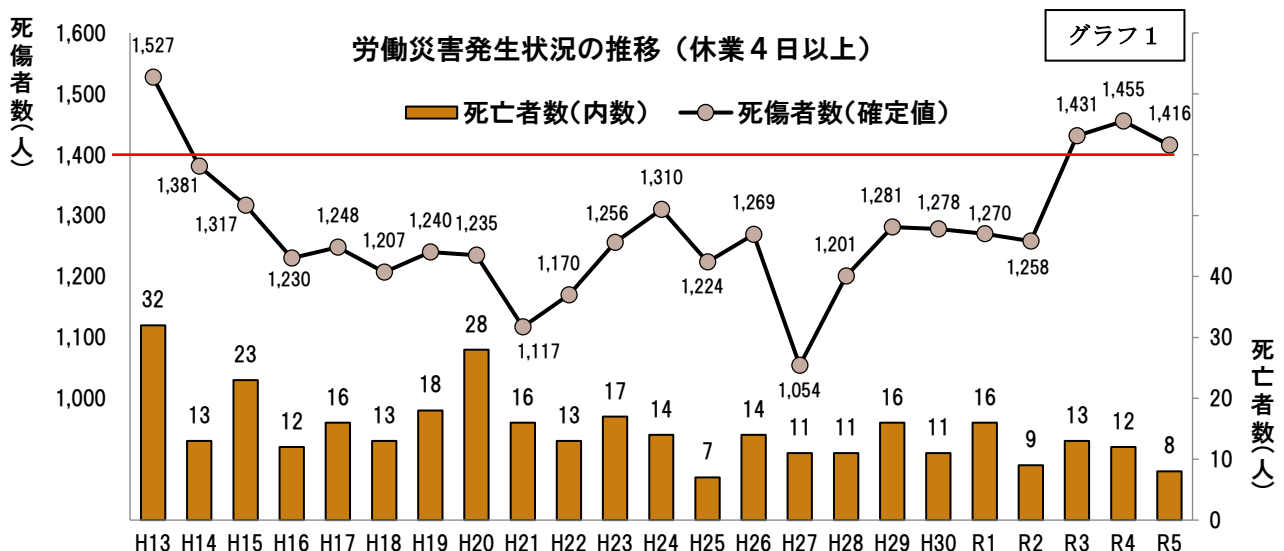
（※）死亡及び休業4日以上之死傷者数

青森労働局（局長 いじまとしゆき 井嶋俊幸）は、令和5年における労働災害発生状況を取りまとめましたので、その結果を公表します。

1 労働災害発生状況（新型コロナウイルス感染症り患を除く）

（1）死傷災害

ア 令和5年の労働災害による休業4日以上之死傷者数は1,416人であり、前年に比べ39人（2.7%）の減少となったが、3年連続で1,400人を超えており、依然として平成13年（1,527人）以来の高水準の状態である。（グラフ1参照）



イ 令和5年の主な業種別の死傷者数では、商業 257 人（前年比：31 人減・－10.8%）が最も多く、次いで製造業 242 人（前年比：9 人増・＋3.9%）、建設業 225 人（前年比：9 人減・－3.8%）となっている。（表 1 参照）

表 1

年 別 等	青森労働局						
	4 年		5 年		増 減		
コ ロ ナ ・ 他	コロナ	他	コロナ	他	コロナ	他	コロナを除く増減率
全 産 業 合 計	1,925	1,455	373	1,416	－1,552	－39	－2.7 %
製 造 業	63	233	22	242	－41	＋9	＋3.9 %
建 設 業	193	234	11	225	－182	－9	－3.8 %
道 路 貨 物 運 送 業	1	115		119	－1	＋4	＋3.5 %
林 業		16		20		＋4	＋25.0 %
商 業	21	288	6	257	－15	－31	－10.8 %
社 会 福 祉 施 設	1,014	188	189	155	－825	－33	－17.6 %

※「コロナ」は、新型コロナウイルス感染症による労働災害の死傷者数を示す。

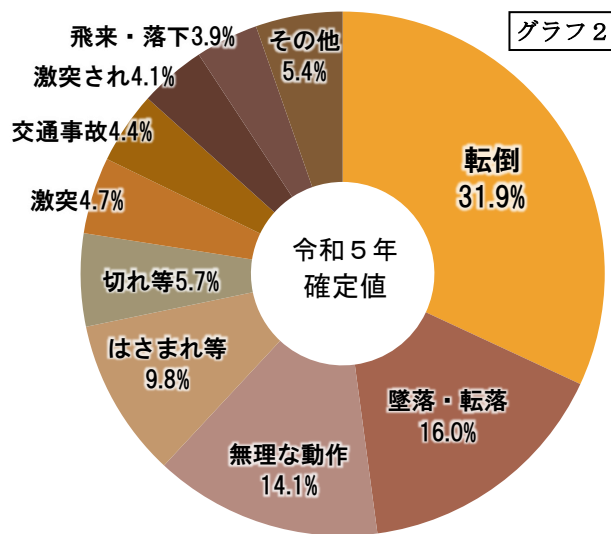
「他」は、新型コロナウイルス感染症以外の労働災害の死傷者数を示す。

(2) 死亡災害

令和5年の労働災害による死亡者数は8人で、前年に比べ4人減少（－33.3%）した。

また、業種別では建設業が3人、製造業が2人、農業、社会福祉施設及び清掃・と畜業が各1人となっている。

(3) 事故の型別発生状況《添付資料 P5～9 参照》



事故の型別では、転倒（つまづく、滑るなど）、墜落・転落（高所から落ちるなど）、無理な動作（不自然な動作や動作の反動、腰痛など）の順に多く発生している。（グラフ 2 参照）

なお、平成16年以降は、「転倒」が全死傷者数に占める割合が最も高くなっている。

「転倒」が多い業種

製造業、商業、社会福祉施設

「墜落・転落」が多い業種

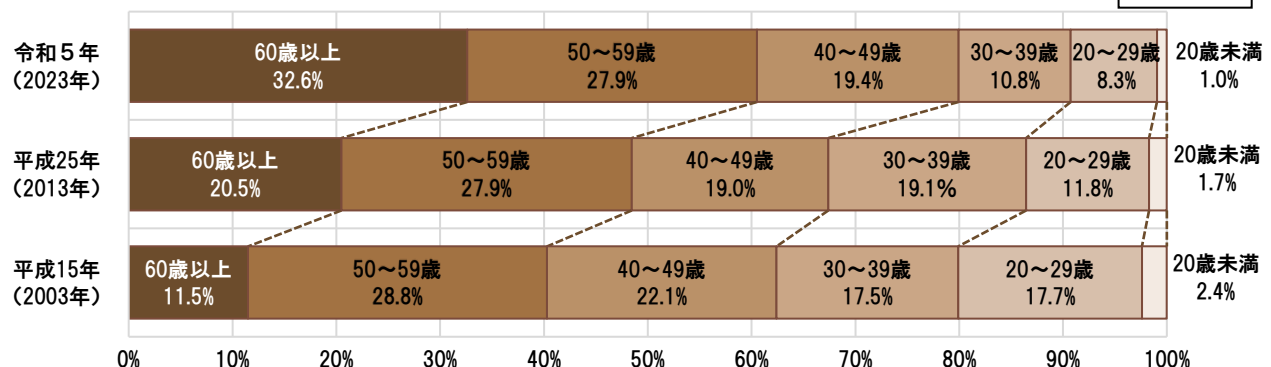
建設業、道路貨物運送業

(4) 年齢別発生状況《グラフ 3、添付資料 P10～14 参照》

高齢労働者（50 歳以上）の全死傷者数に占める割合は、60.5%で年々増加しており、平成27年以降は2人に1人が高齢労働者（50 歳以上）となっている。

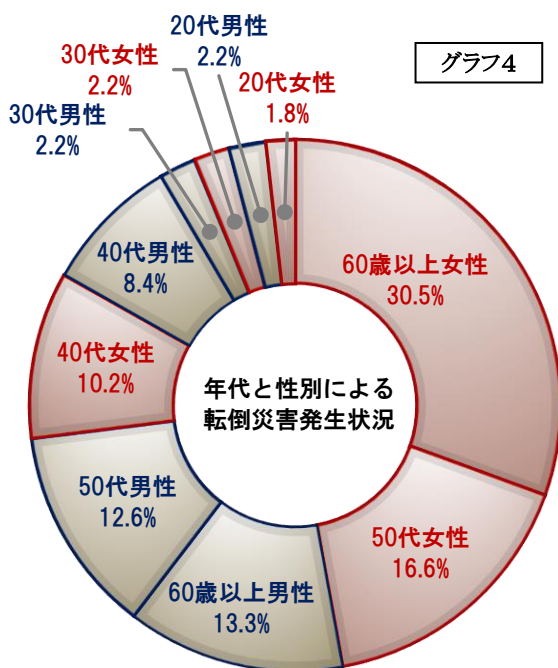
年齢別労働災害発生状況の推移

グラフ 3

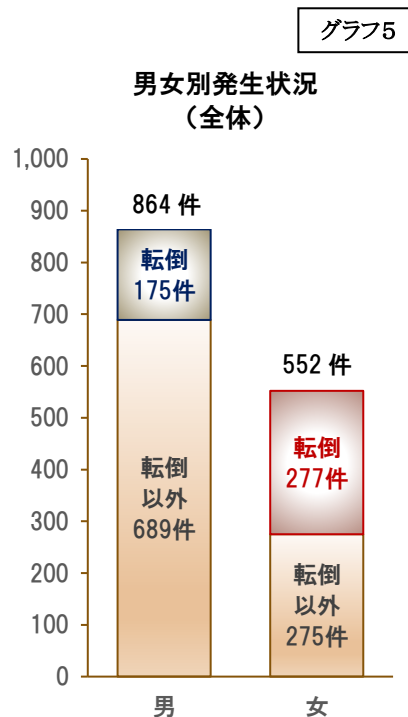


(5) 転倒災害の詳細《添付資料P15～18 参照》

- ア 休業30日以上の死傷者数は、60歳以上が最も多く、次いで50歳台、40歳台となっており、年齢が高くなる程、休業日数が長くなっている。
- イ 骨折した死傷者数は、60歳以上が圧倒的に多く、次いで50歳台、40歳台となっており、年齢が高くなる程、骨折しやすい傾向にある。



グラフ4



グラフ5

(6) 令和5年における典型的な被災事例《添付資料P5・15～18 参照》

- ① 転倒災害 (事故の型別で最も多い)
- ② 60歳以上 (転倒災害の年齢別で最も多い)
- ③ 女性 (転倒災害の男女別で最も多い)
- ④ 骨折 (転倒災害の傷病性質別で最も多い)
- ⑤ 休業日数1～3か月 (転倒災害の休業日数別で最も多い)

🏠 **60歳以上の女性労働者が転倒して骨折し1～3か月休業**

(7) 冬期労働災害発生状況《添付資料P19・21 参照》

- ア 冬期労働災害による死傷者数は215人であり、前年に比べ88人の減少(-29.0%)となっている。
 - イ 死傷者数215人のうち、厳冬期(1月、2月、12月)での死傷者数が203人(94.4%)となっている。
 - ウ 転倒災害による死傷者数(173人)が、全死傷者数の8割以上(80.5%)を占めている。
 - エ 2月に社会福祉施設において、死亡災害(事業場の出入口付近の除雪を行っていたところ、隣接する建物の屋根から雪が落下し被災者に激突した災害)が発生している。
- ※「冬期労働災害」とは、冬期において降雪、低温、強い季節風等の冬期特有の気象条件の影響を受けた労働災害のことです。

2 労働災害発生状況(新型コロナウイルス感染症り患を含む)《添付資料P20 参照》

令和5年の労働災害による死傷者数は1,789人であり、前年に比べ1,591人(47.1%)の減少となった。

3 青森労働局の対応

- (1) 全死傷者数に占める割合が特に高い「行動災害」(転倒や腰痛等の労働者の作業行動を起因とする労働災害)の防止対策を重点として指導する。
- なお、具体的対策の例としては次のとおり。

ア 転倒災害を発生させる環境要因の解消（ハード対策）の指導

作業場・通路その他の労働者が立ち入る場所の照度を高く保つとともに、つまずきや滑り等それぞれに係る環境要因を解消する物理的対策を指導する。

また、冬期間における転倒災害防止のため、通路、作業場所及び駐車場の除排雪・融雪設備の運用による積雪・凍結防止について指導する。

イ 労働者の高齢化に伴う身体機能の低下への対策（ソフト対策）の促進

「転倒等リスク評価セルフチェック票」を活用した身体機能の低下に起因する転倒リスクの可視化及び身体機能の維持向上のための取組を促進する。

ウ 「職場における腰痛予防対策指針」の周知及び指導

一般的な腰痛予防対策のほか、次に掲げる作業態様別の腰痛予防対策の周知徹底を図る。

○ 重量物取扱い作業 ○ 立ち作業 ○ 座り作業

○ 福祉・医療分野等における介護・看護作業 ○ 車両運転等の作業

(2) 年々増加している高年齢労働者の労働災害の防止対策を指導する。

高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」(通称：エイジフレンドリーガイドライン)を周知するとともに、エイジフレンドリー補助金の活用促進を図る。

(3) 関係行政機関及び関係団体等と連携し、指導及び啓発を行う。

4 添付資料

- 令和5年労働災害発生状況統計資料（確定版/新型コロナウイルス感染症を除く）

令和5年

労働災害発生状況統計資料

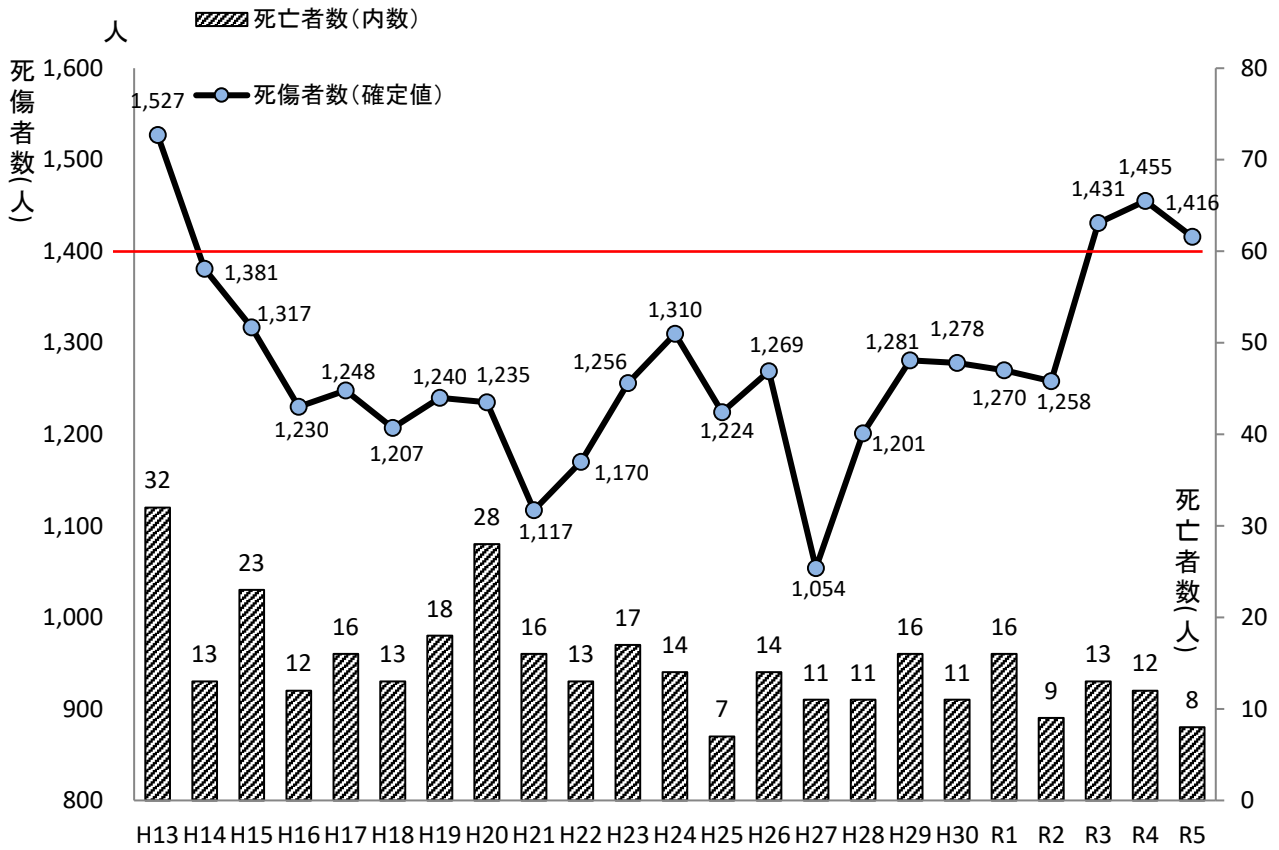
(確定版/新型コロナウイルス感染症を除く)



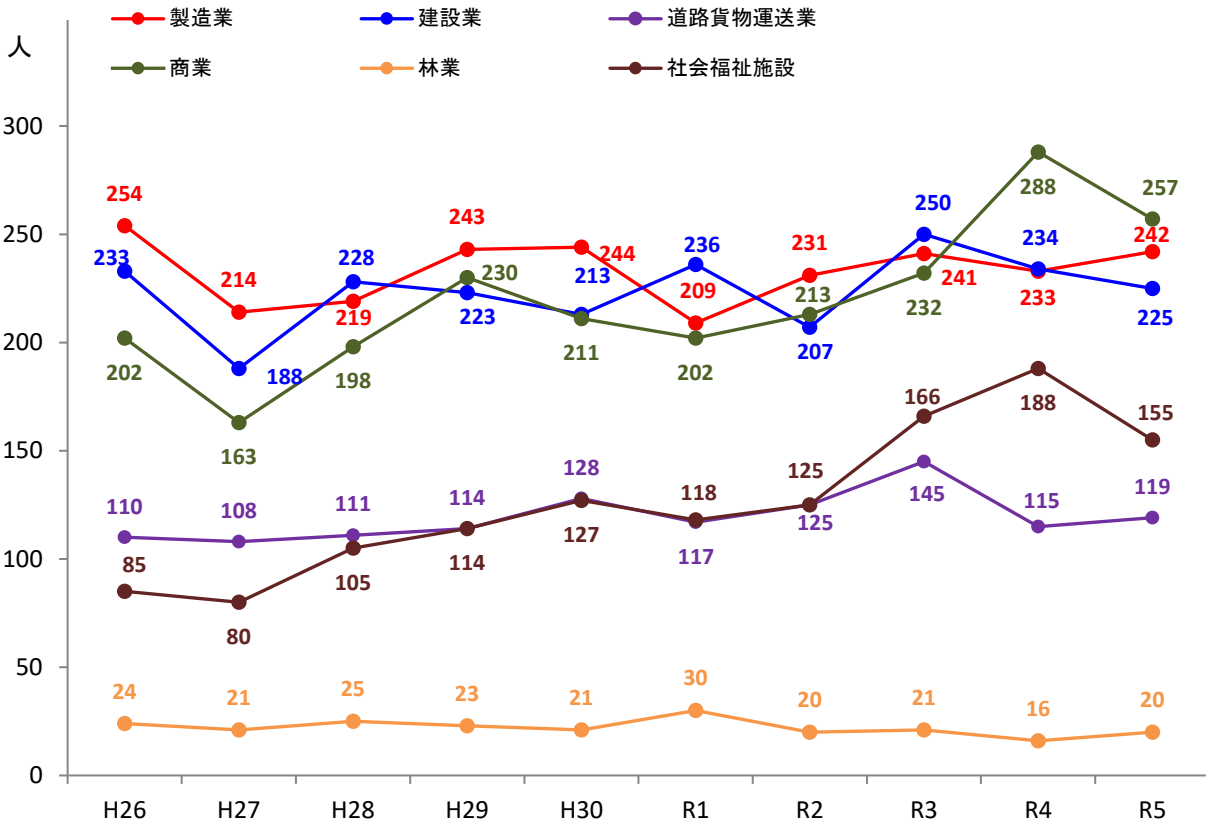
令和6年4月

青森労働局

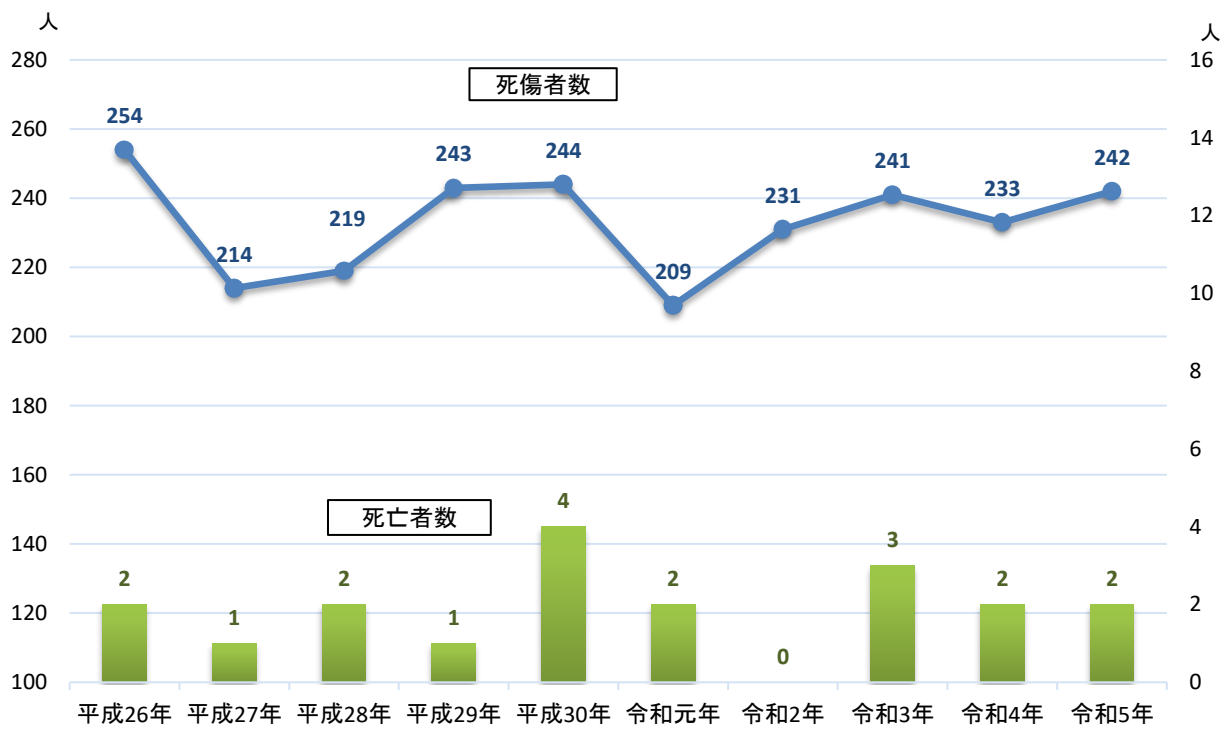
1 全産業における労働災害発生状況の推移



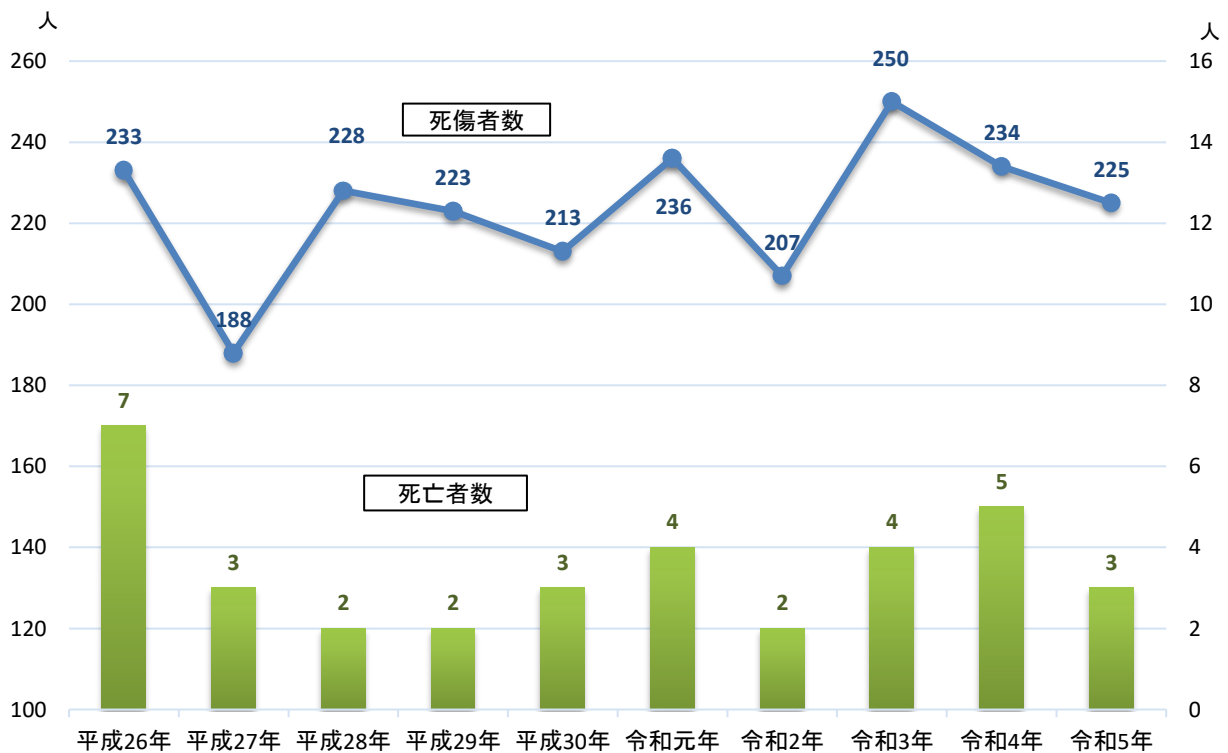
2 主たる業種別労働災害発生状況の推移



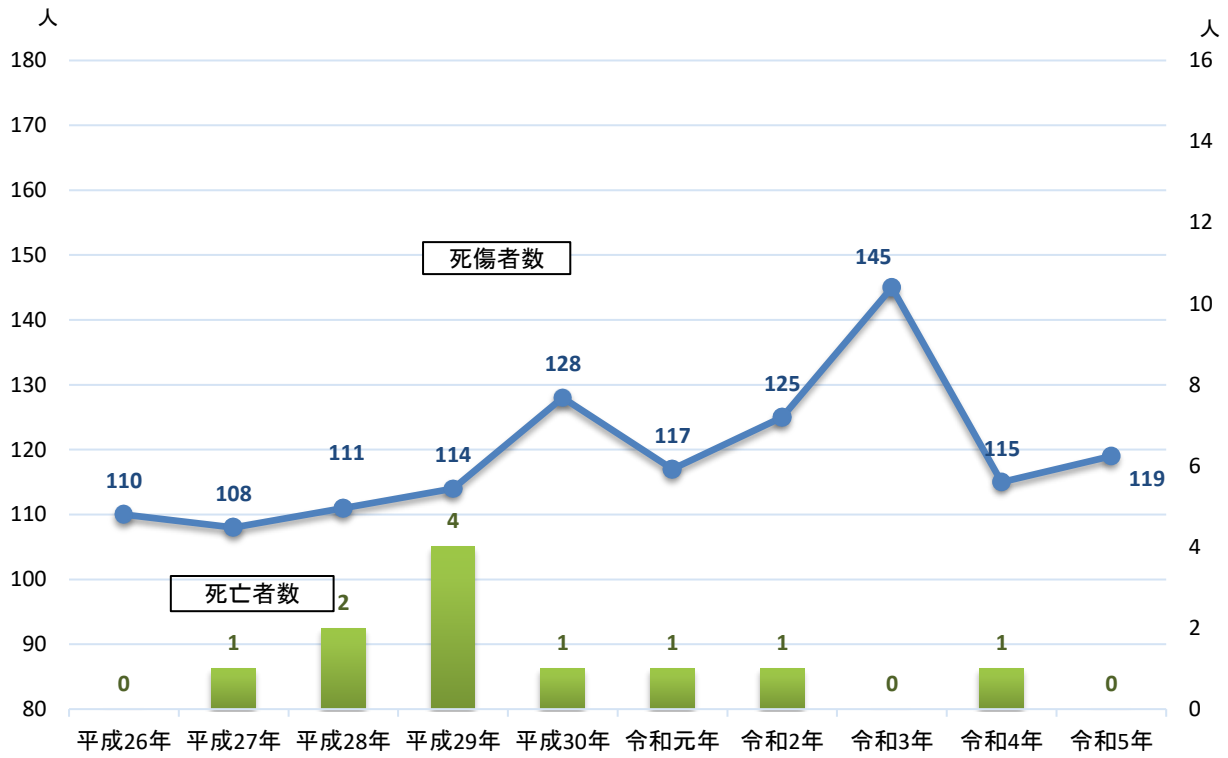
3 製造業



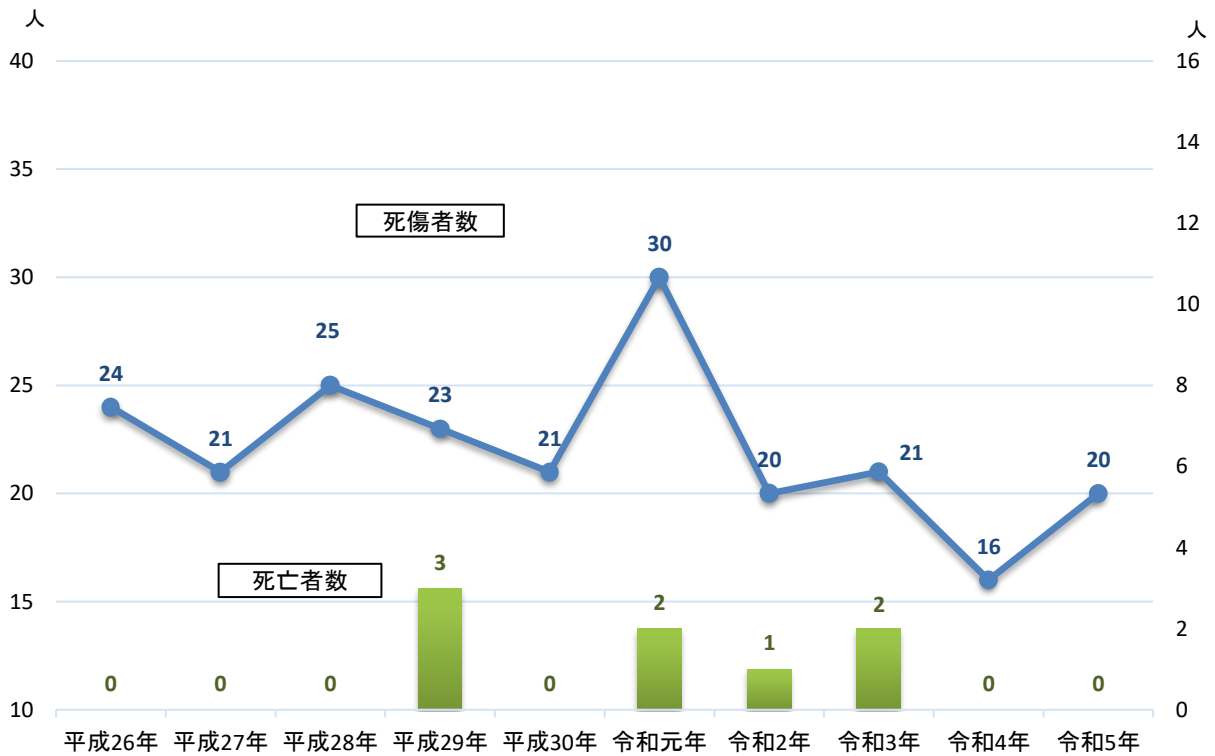
4 建設業



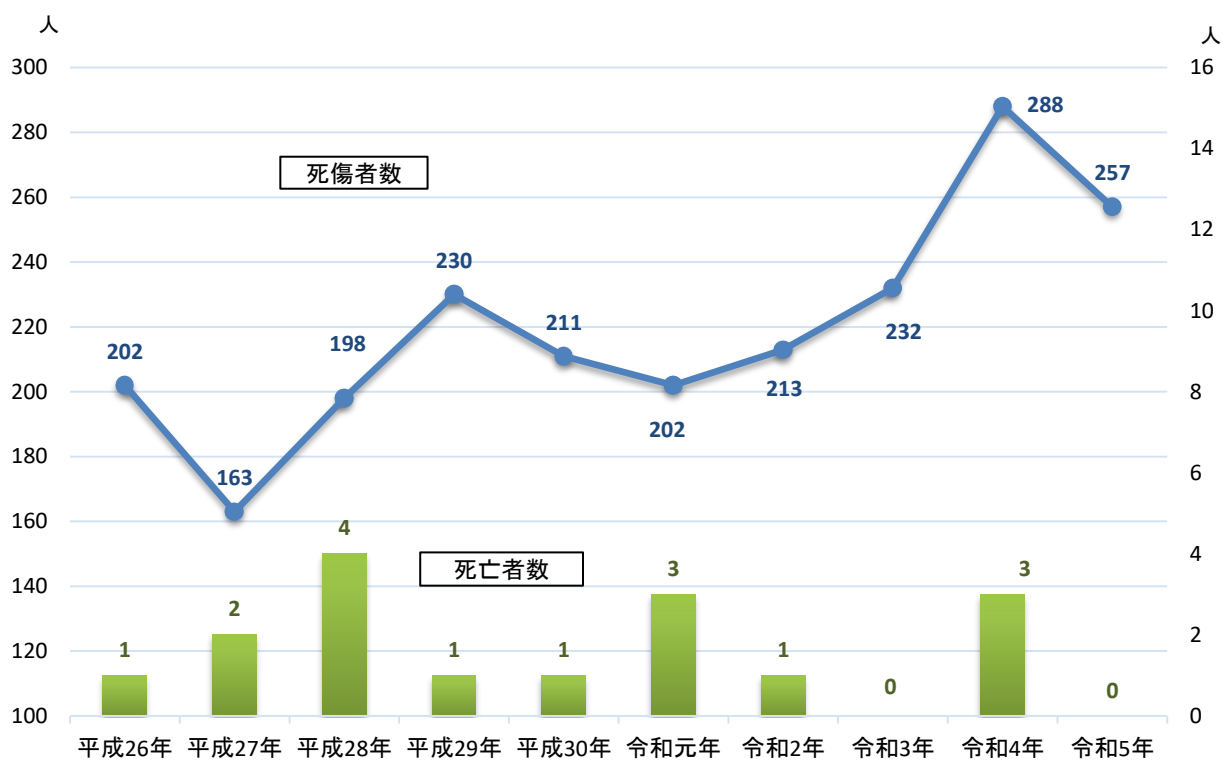
5 道路貨物運送業



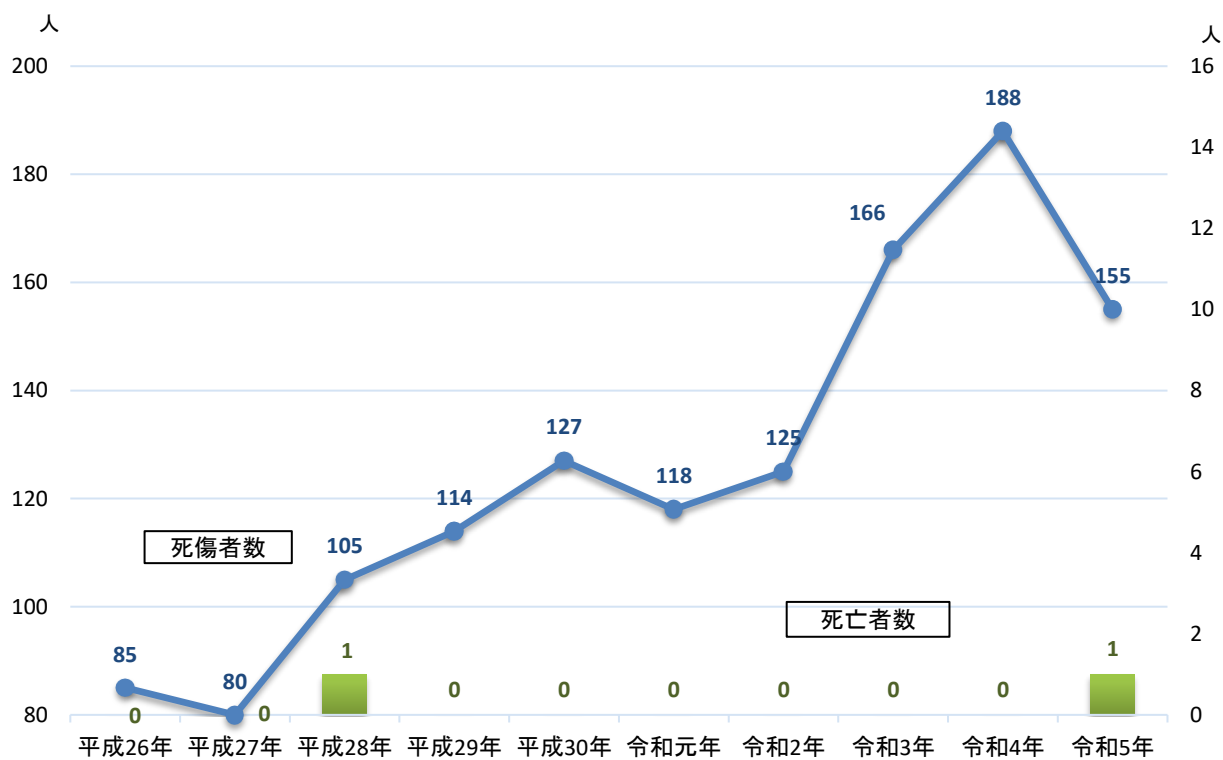
6 林業



7 商業



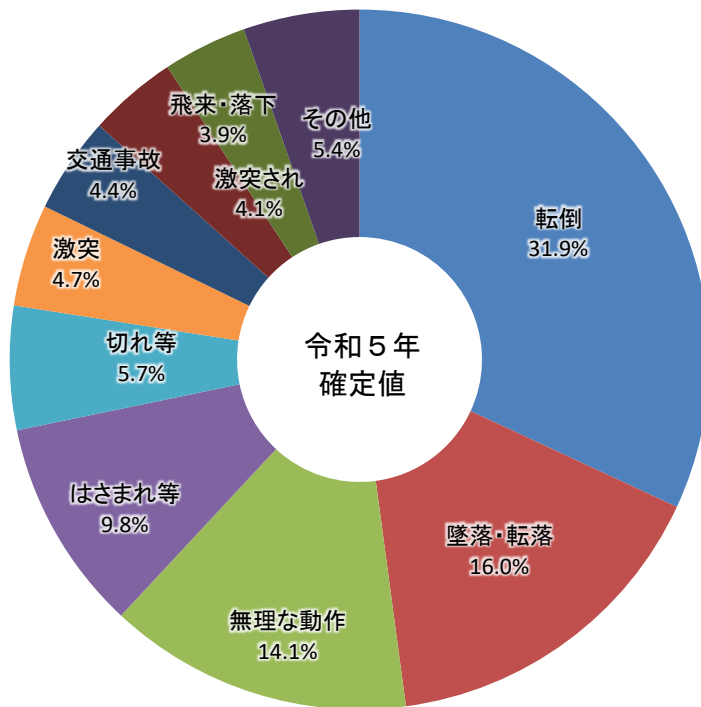
8 社会福祉施設



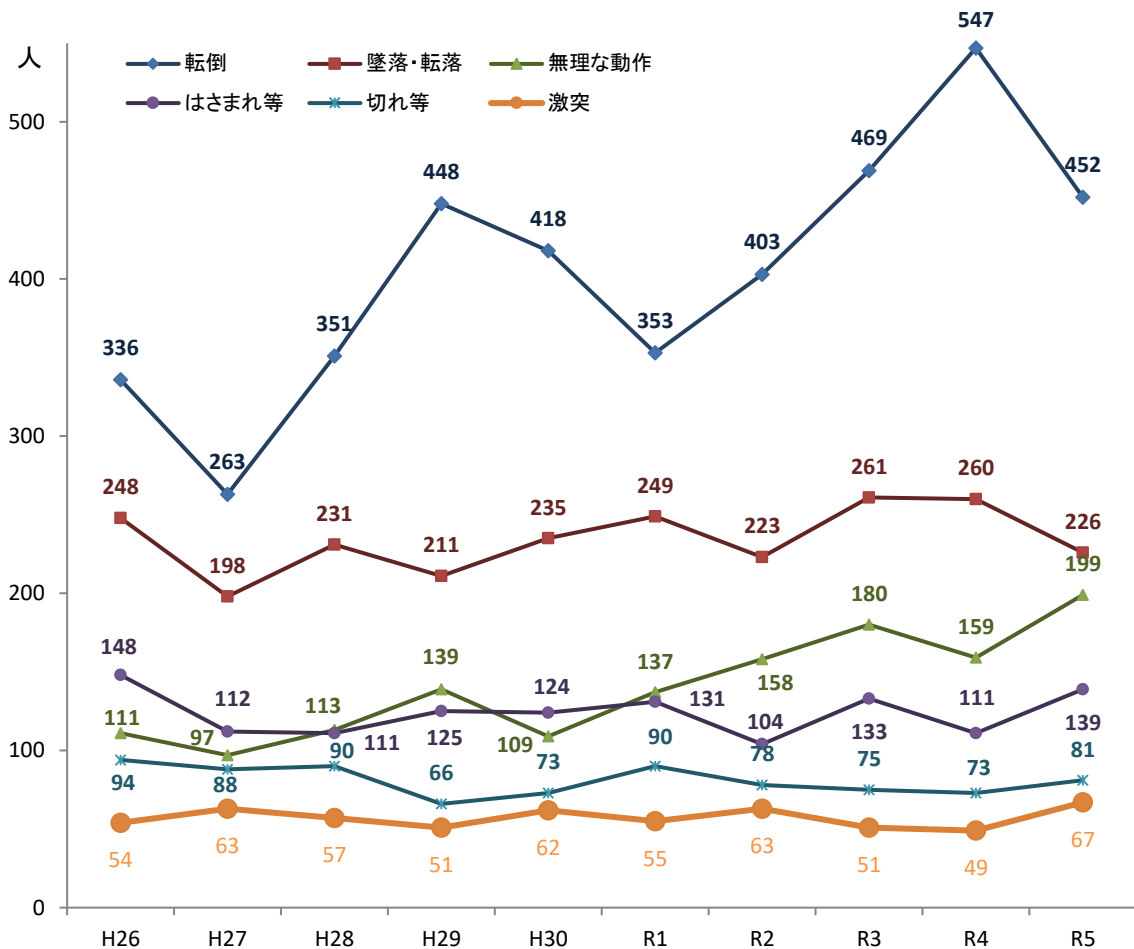
9 事故の型別労働災害発生状況

(1) 全産業

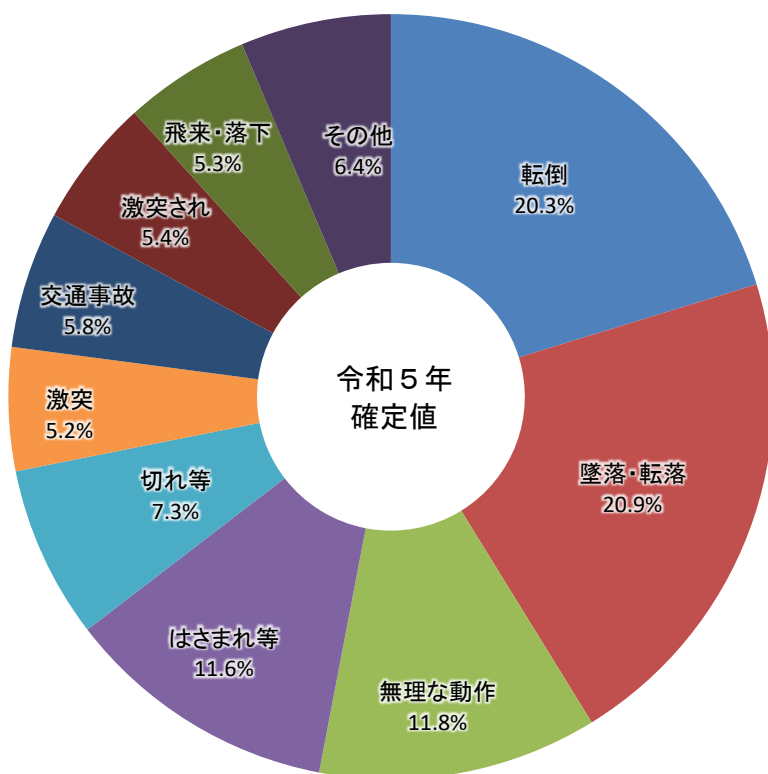
① 令和5年の割合



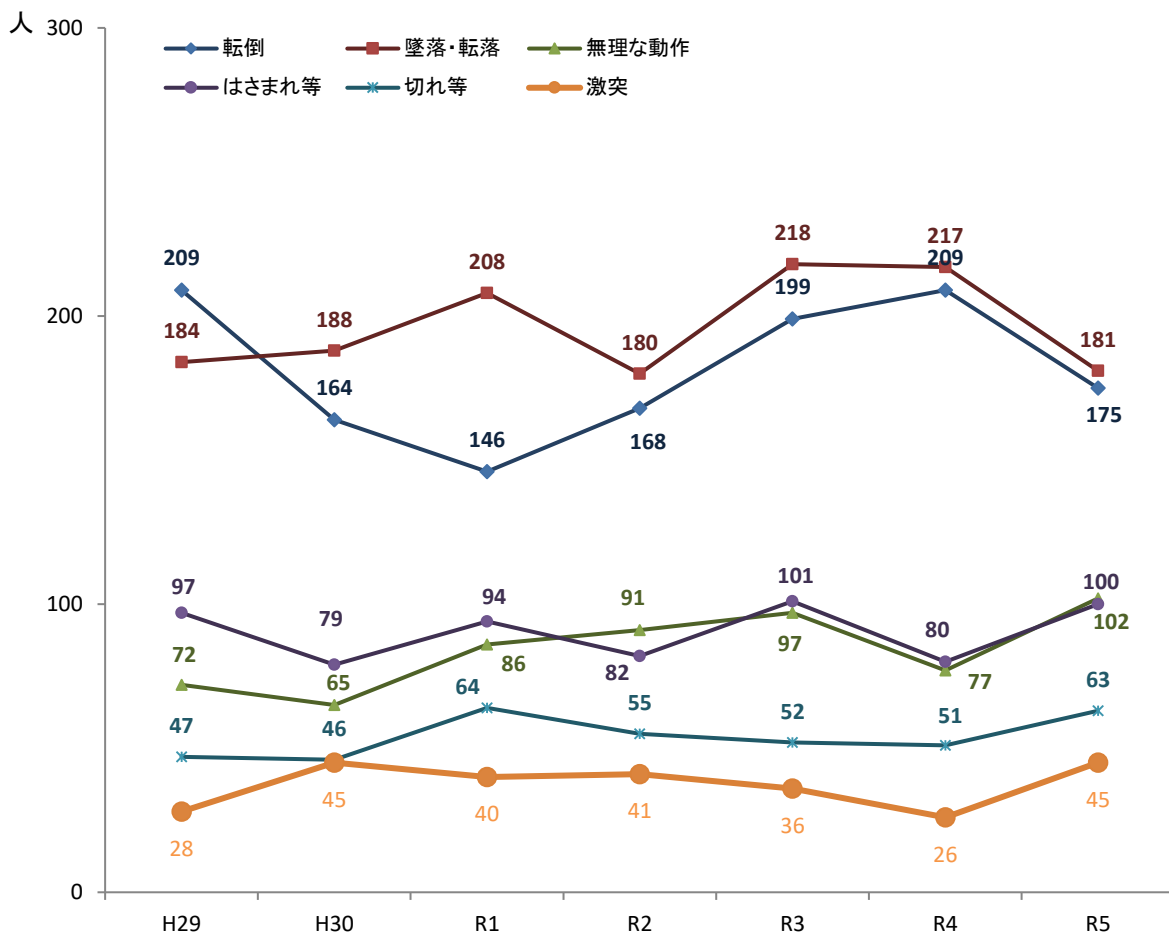
② 主な事故の型別推移



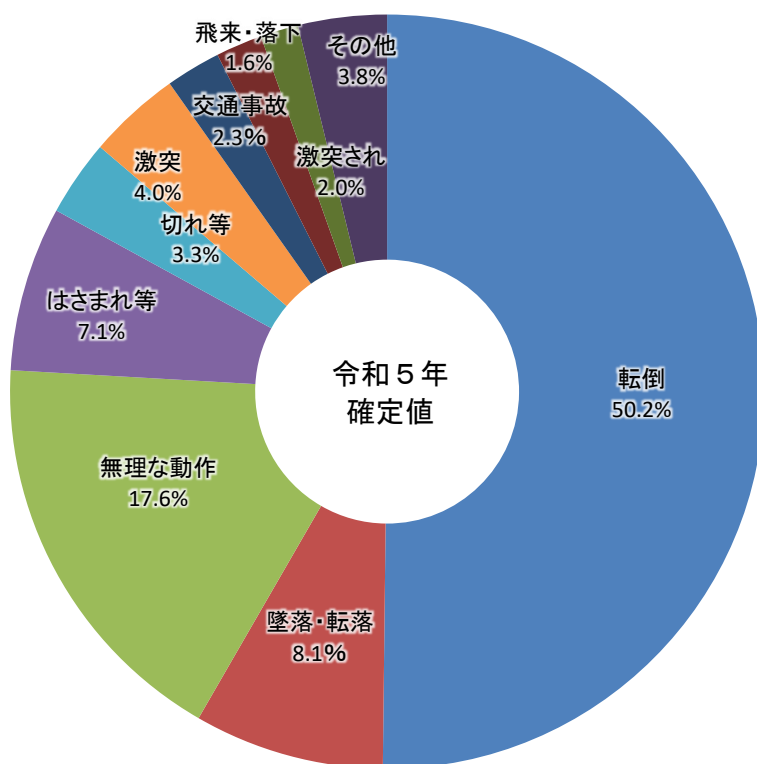
③令和5年の割合(男性)



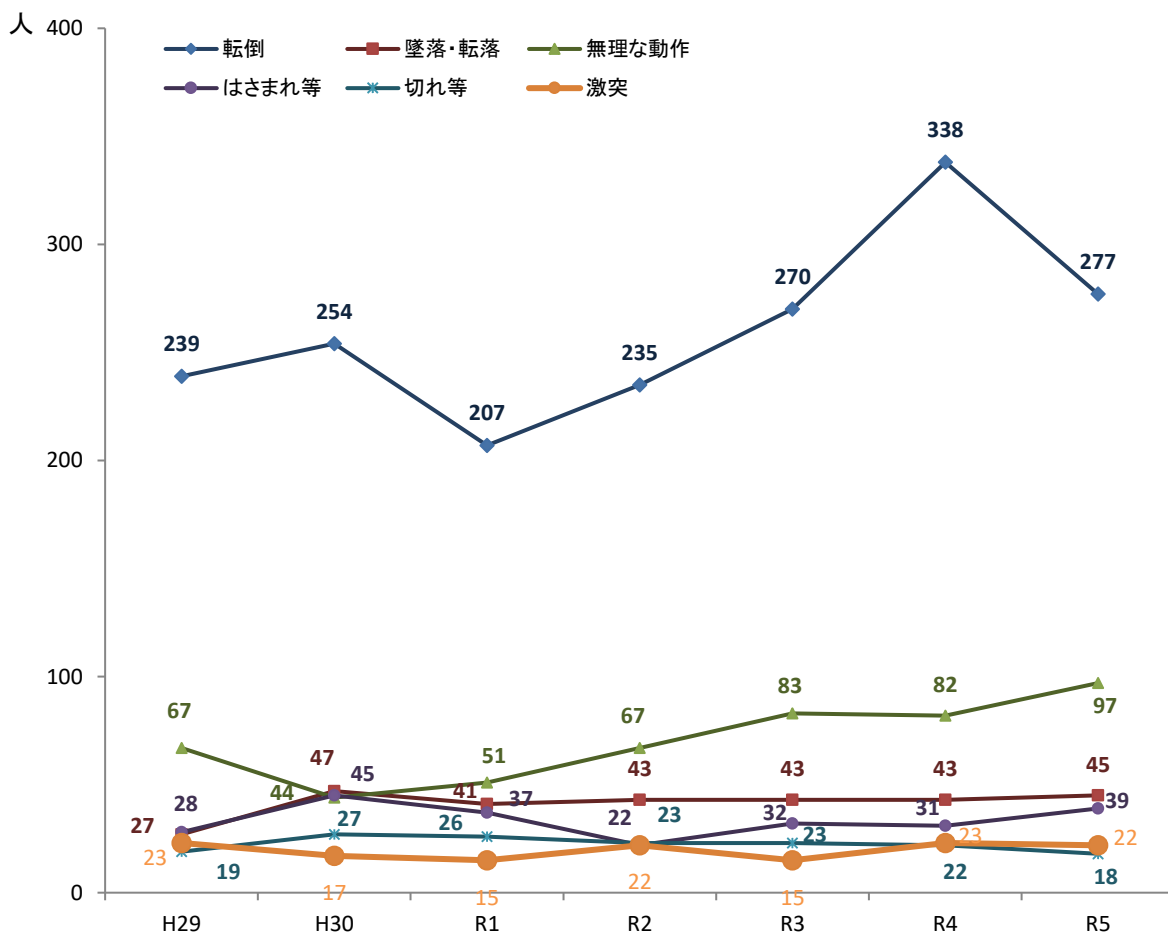
④主な事故の型別推移(男性)



⑤令和5年の割合(女性)

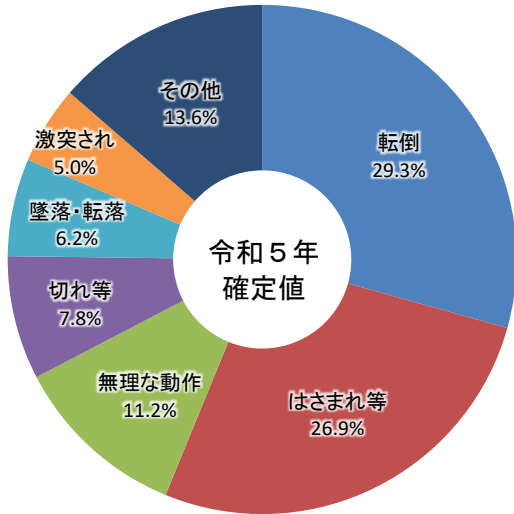


⑥主な事故の型別推移(女性)

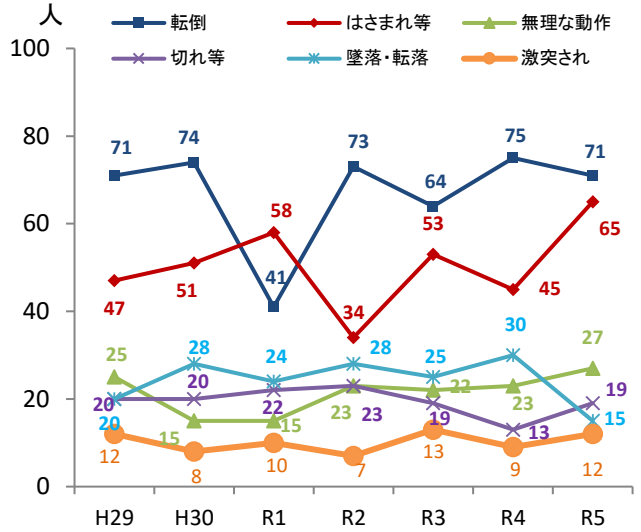


(2) 製造業

①令和5年の割合

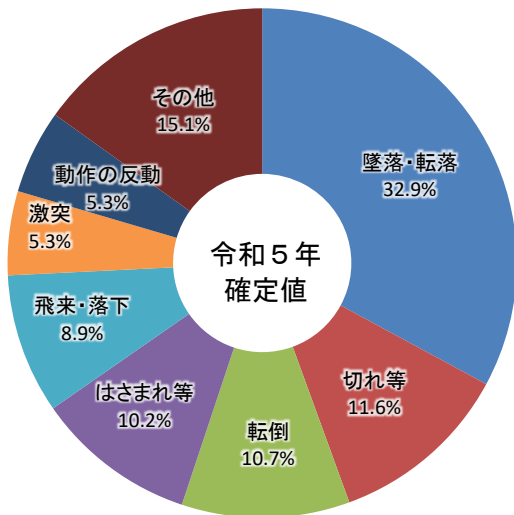


②主な事故の型別推移

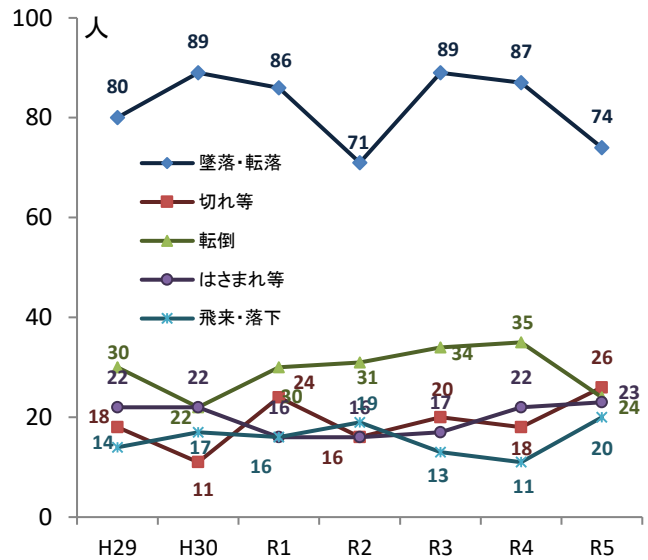


(3) 建設業

①令和5年の割合

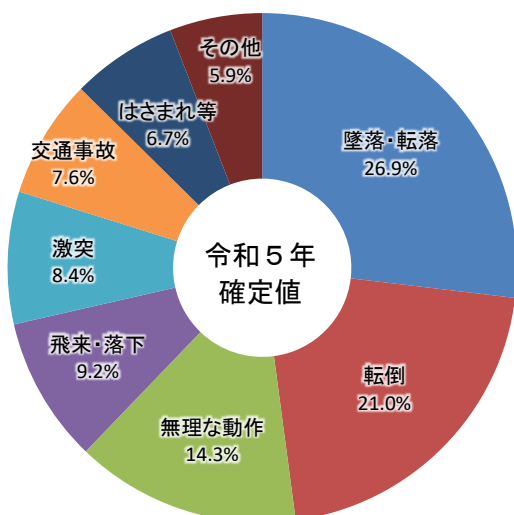


②主な事故の型別推移

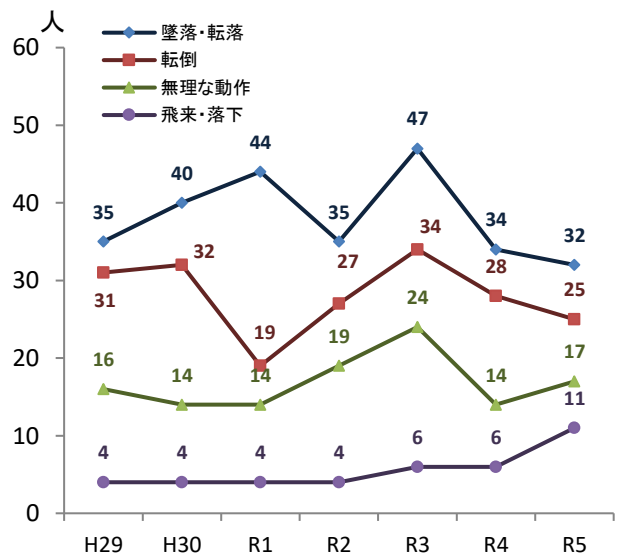


(4) 道路貨物運送業

①令和5年の割合

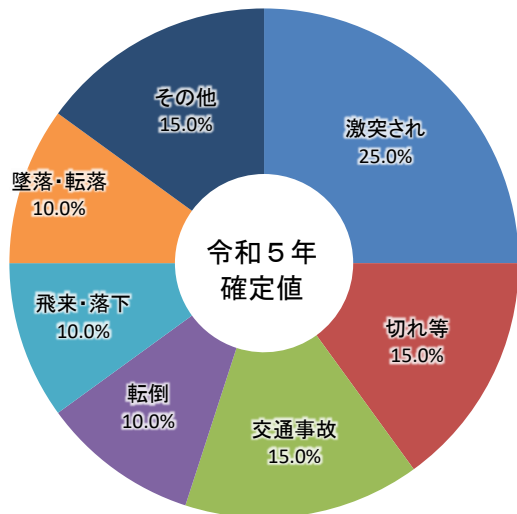


②主な事故の型別推移

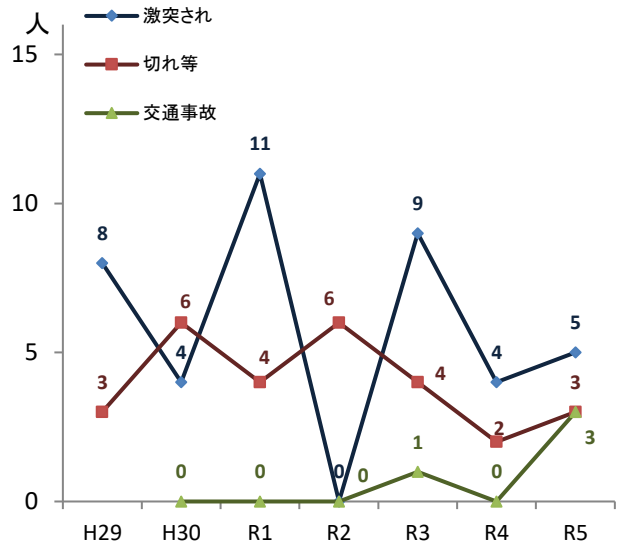


(5) 林業

①令和5年の割合

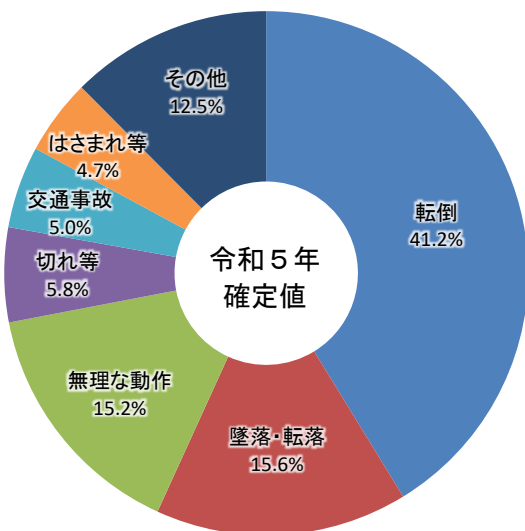


②主な事故の型別推移

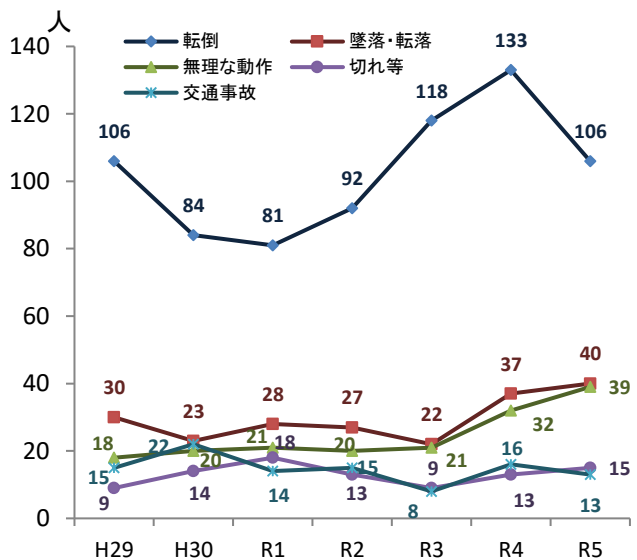


(6) 商業

①令和5年の割合

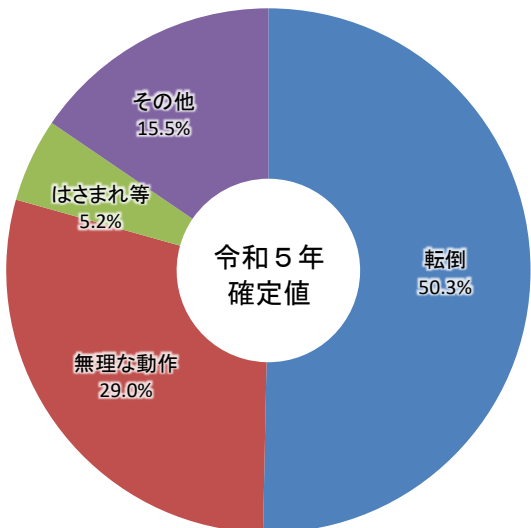


②主な事故の型別推移

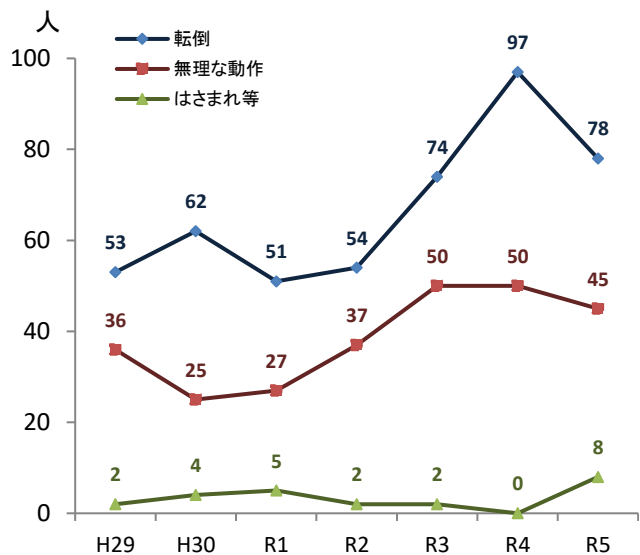


(7) 社会福祉施設

①令和5年の割合

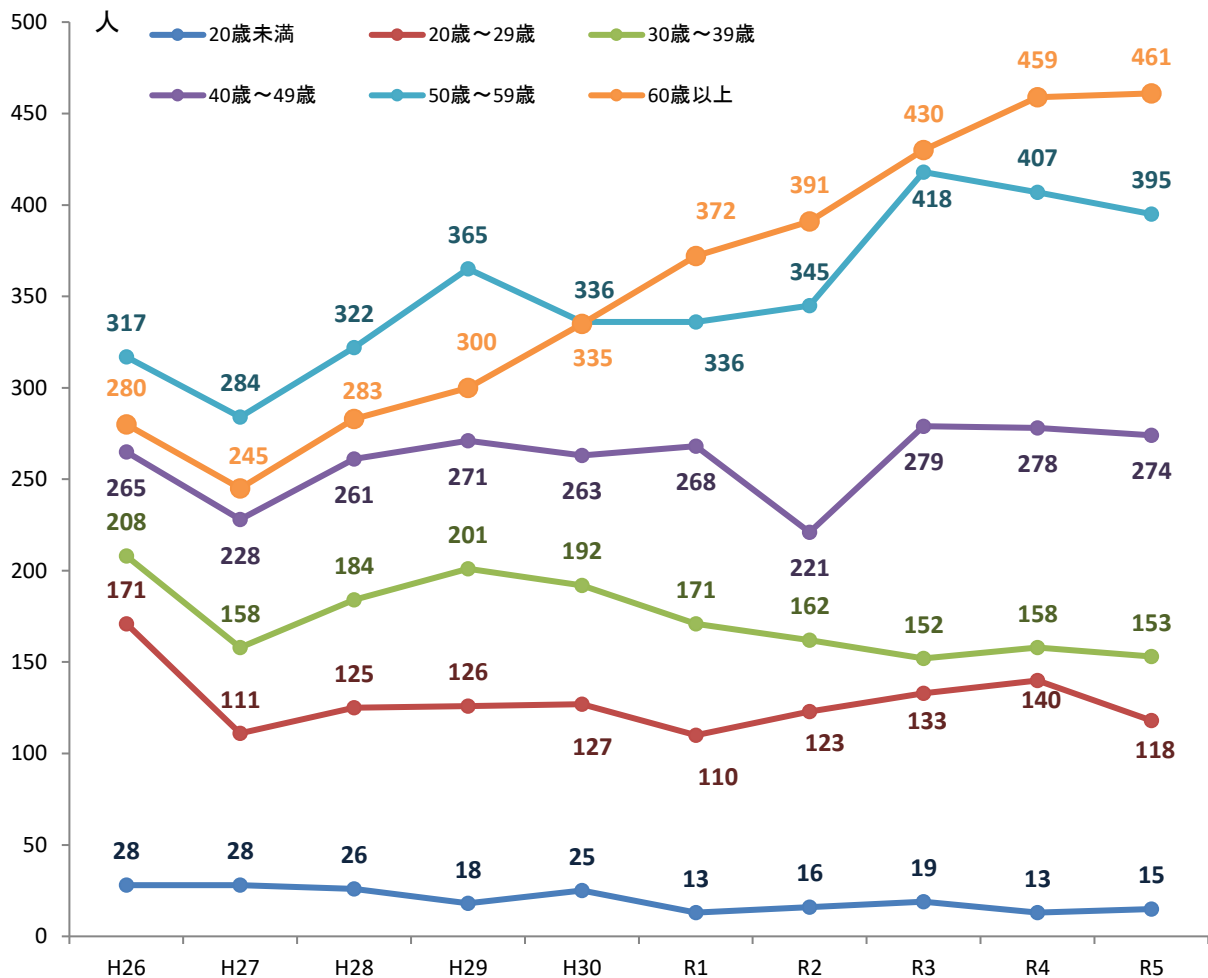


②主な事故の型別推移

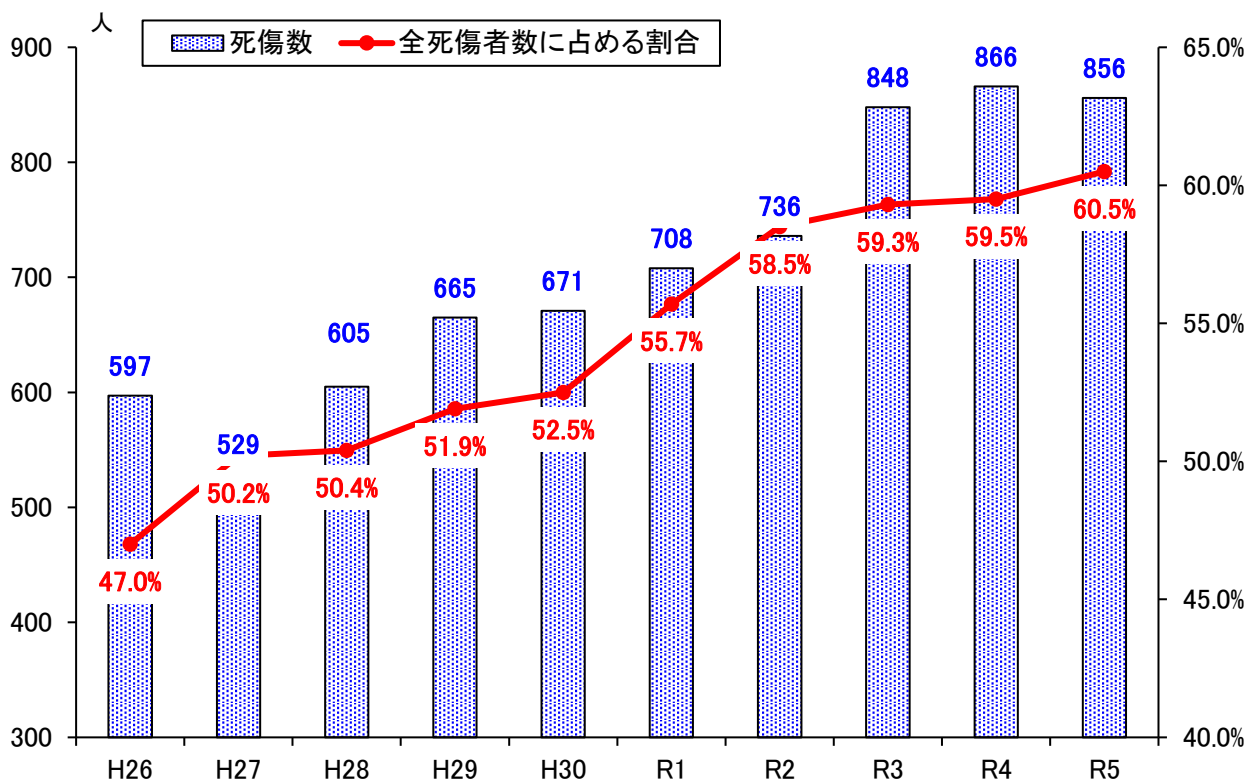


10 年齢別労働災害発生状況

(1) 年齢別推移 (全産業)

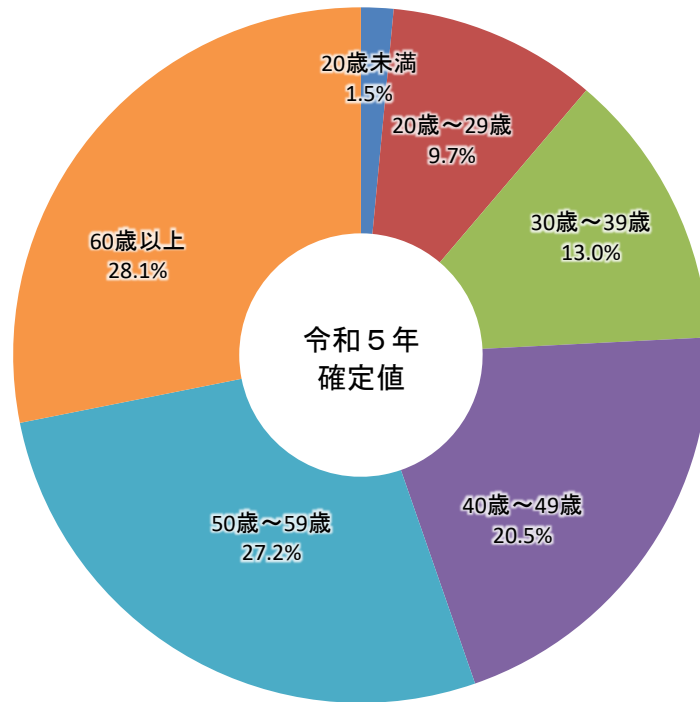


(2) 高齢労働者 (50歳以上) の占める割合 (全産業)

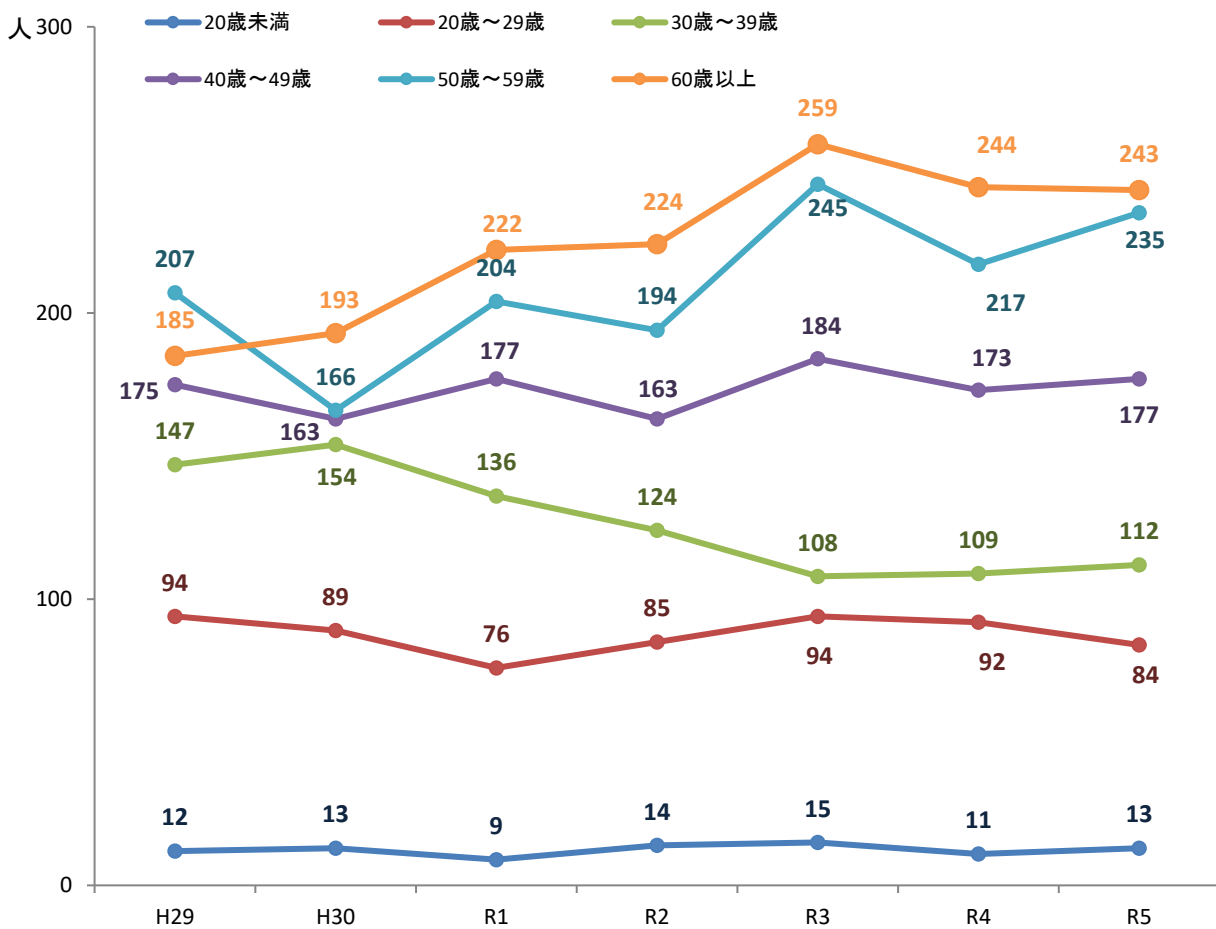


(3) 年齢別推移(男女別)(全産業)

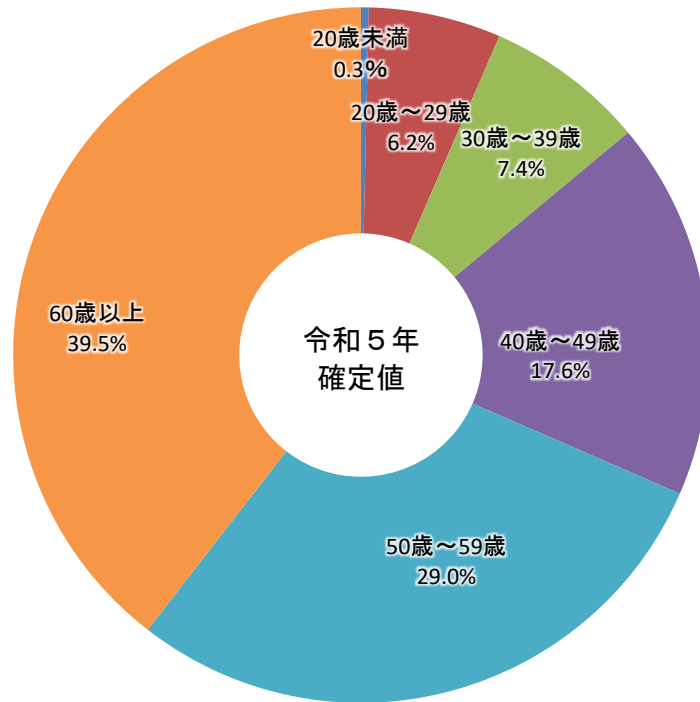
① 令和5年の割合(男性)



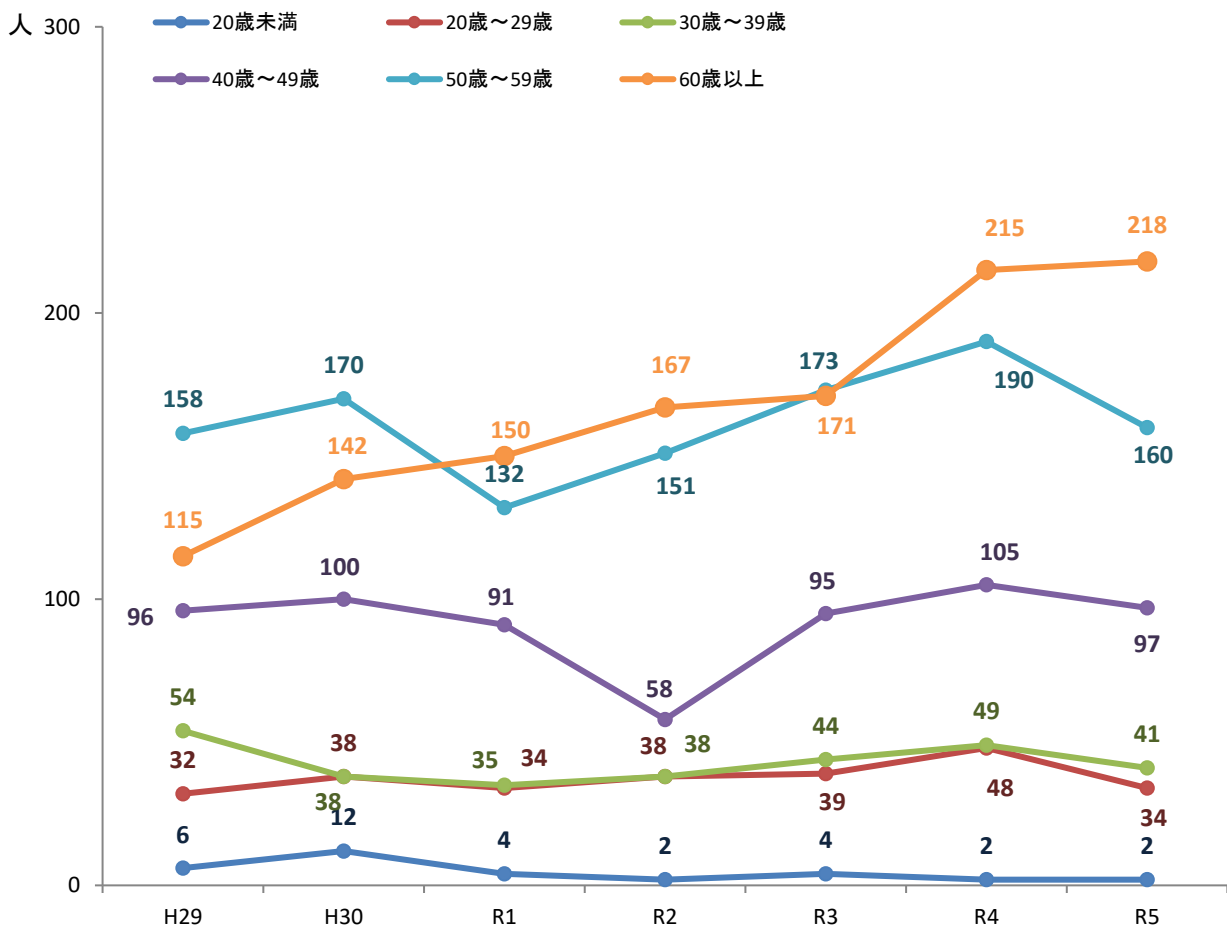
② 年齢別推移(男性)



③令和5年の割合(女性)

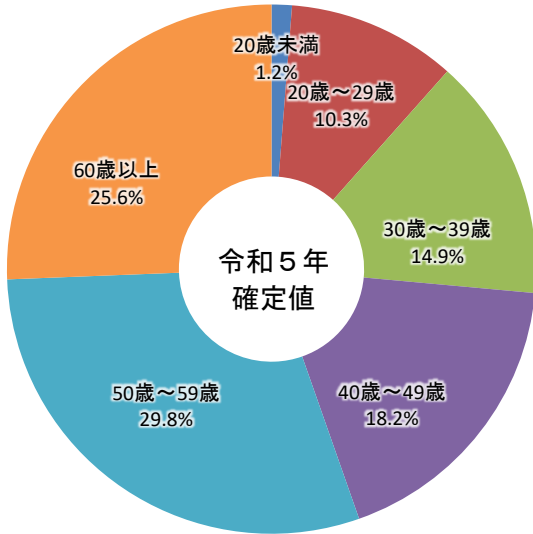


④年齢別推移(女性)

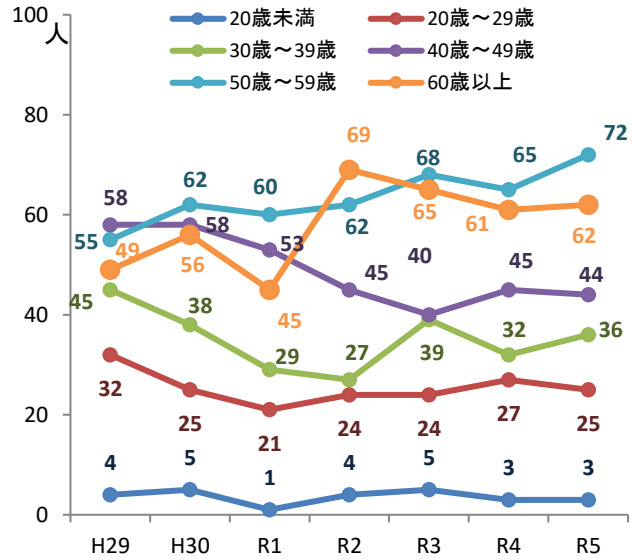


(4) 製造業

①令和5年の割合

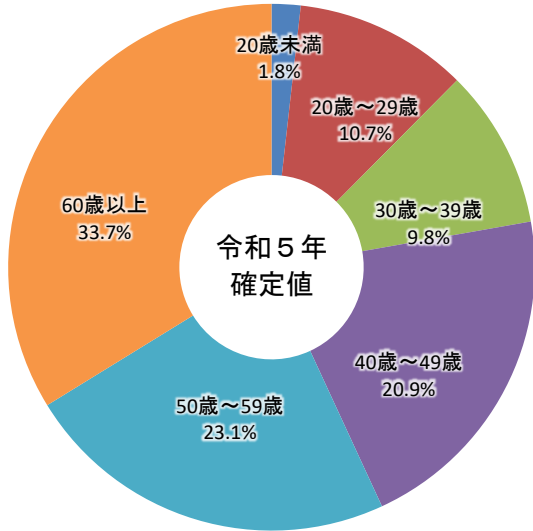


②年齢別推移

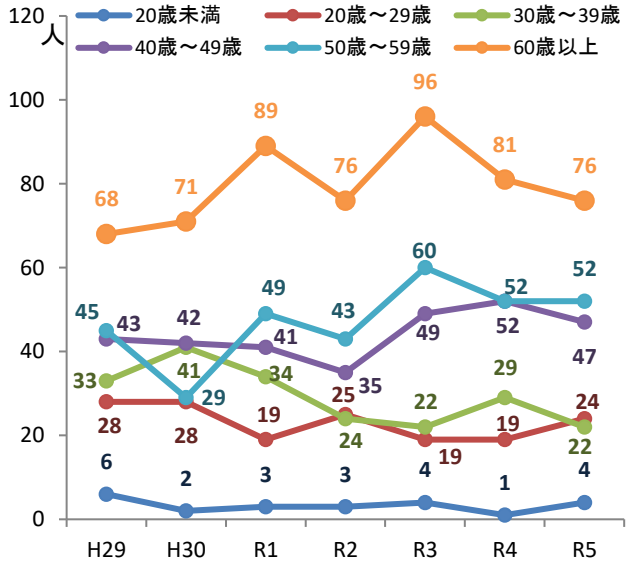


(5) 建設業

①令和5年の割合

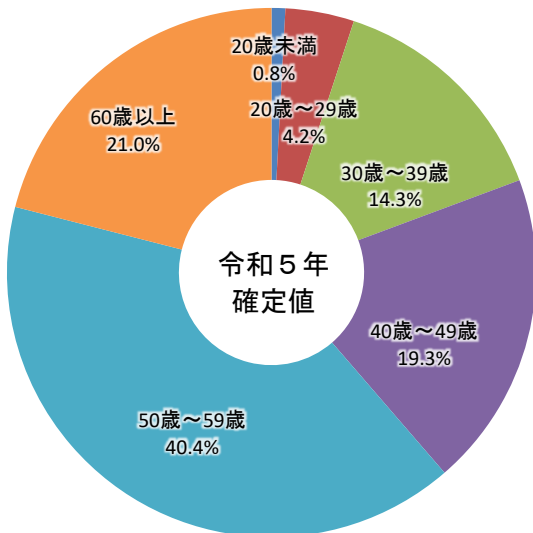


②年齢別推移

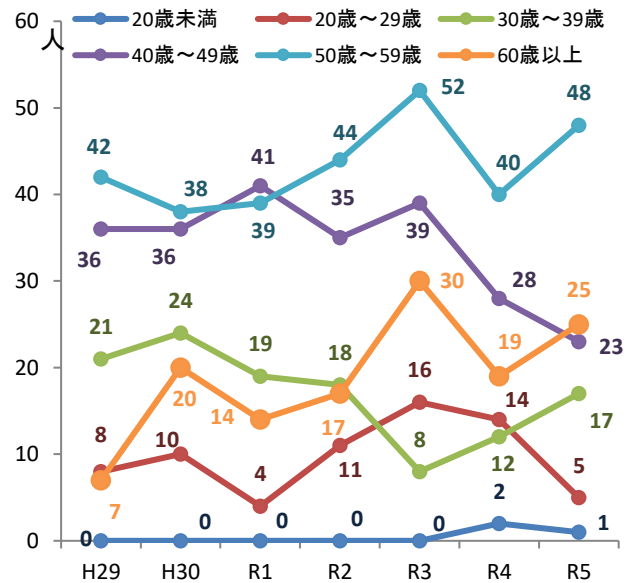


(6) 道路貨物運送業

①令和5年の割合

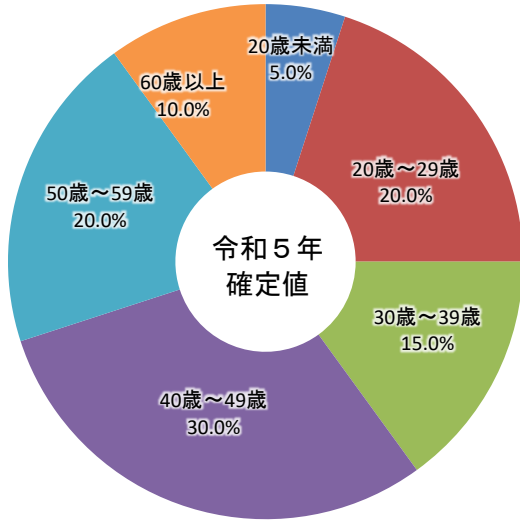


②年齢別推移

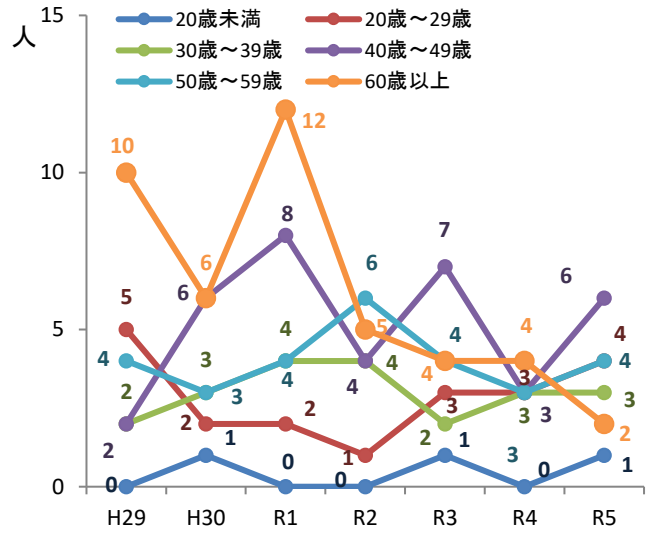


(7) 林業

①令和5年の割合

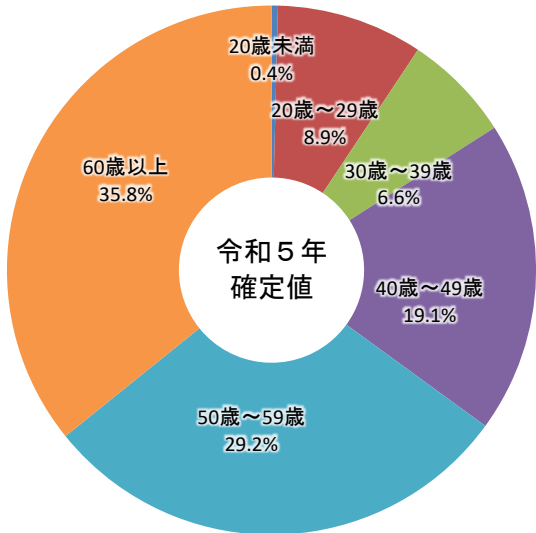


②年齢別推移

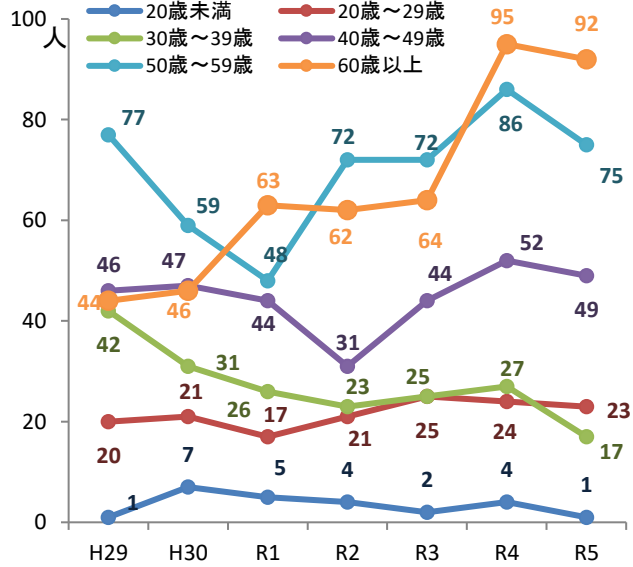


(8) 商業

①令和5年の割合

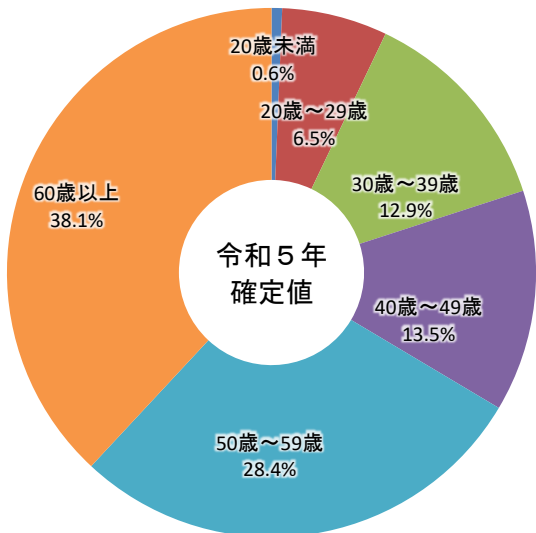


②年齢別推移

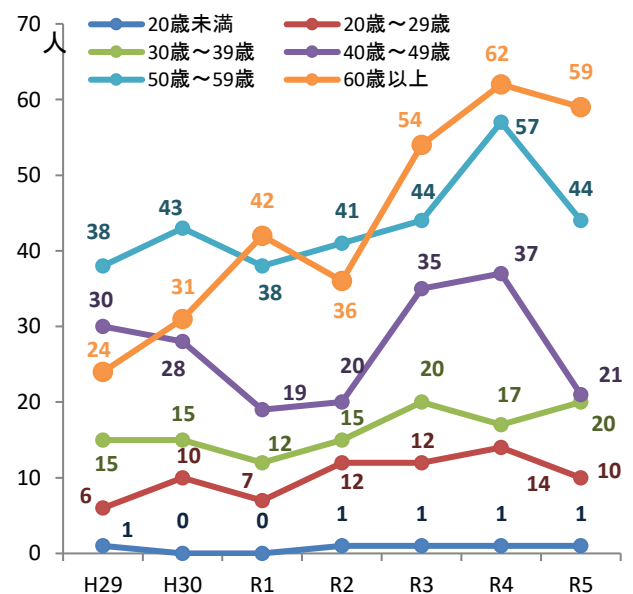


(9) 社会福祉施設

①令和5年の割合

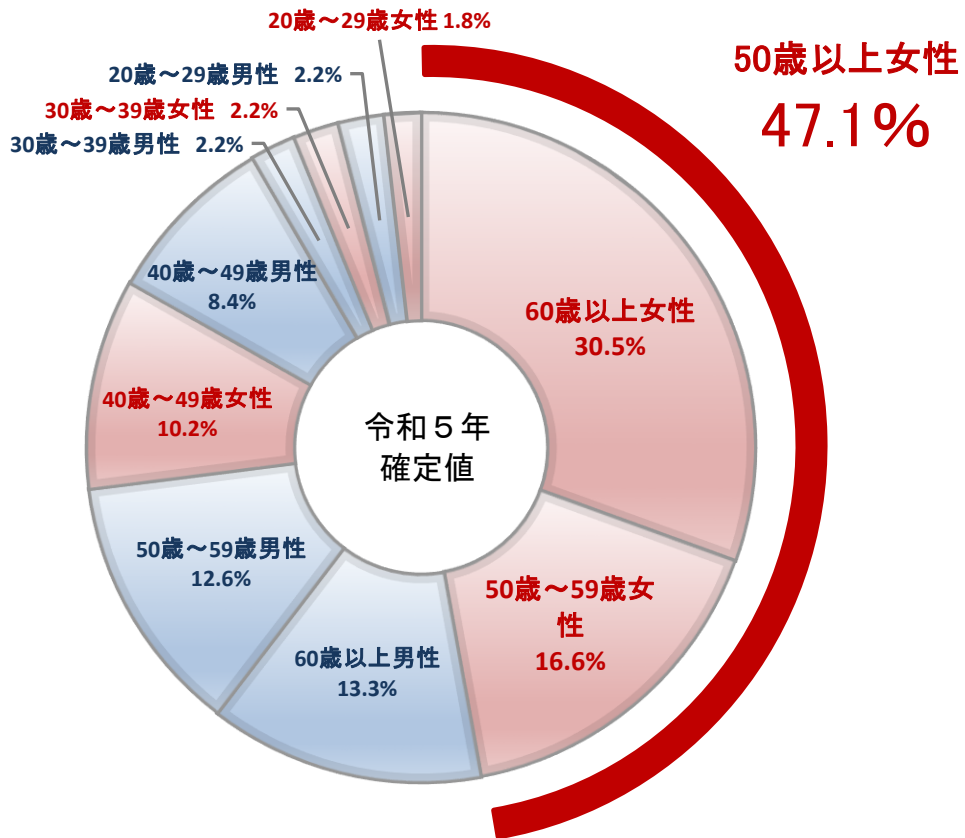


②年齢別推移

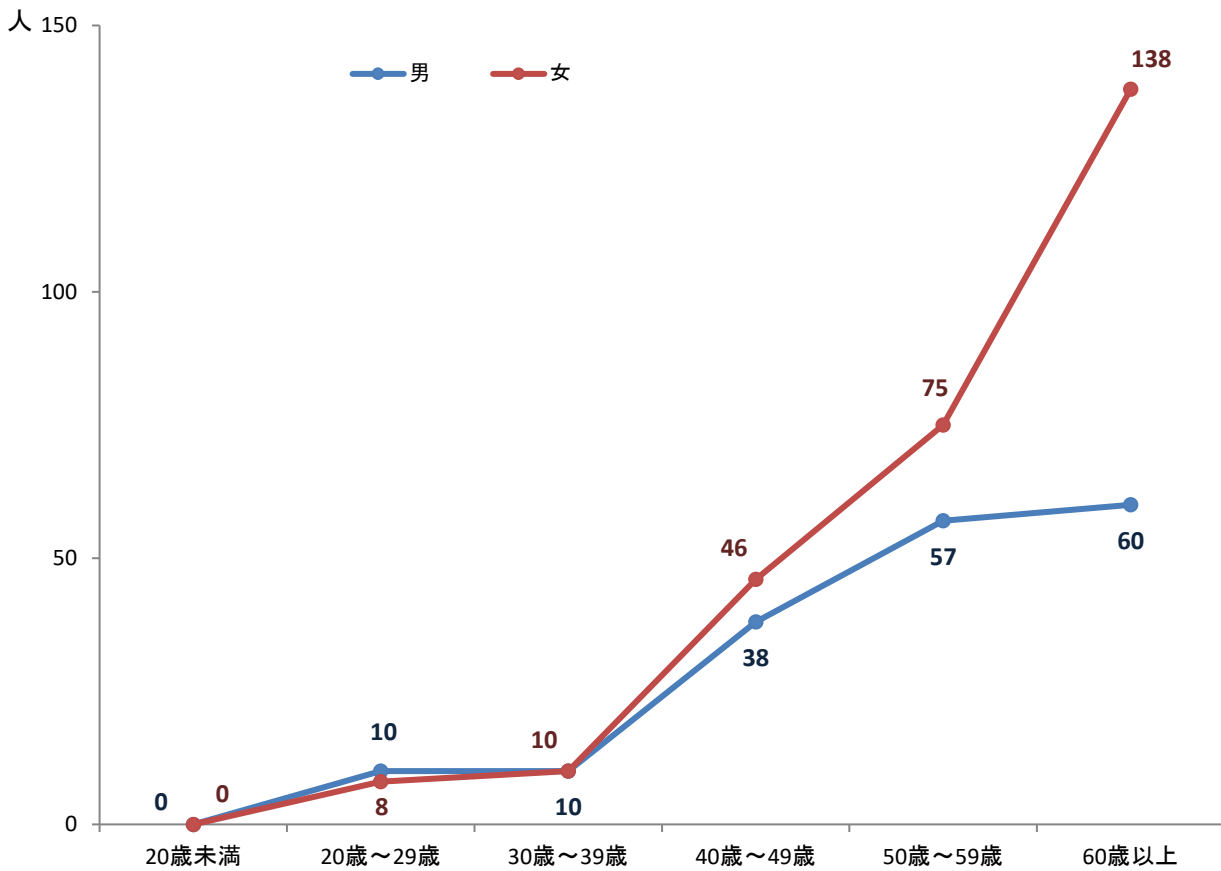


(10) 転倒災害の詳細

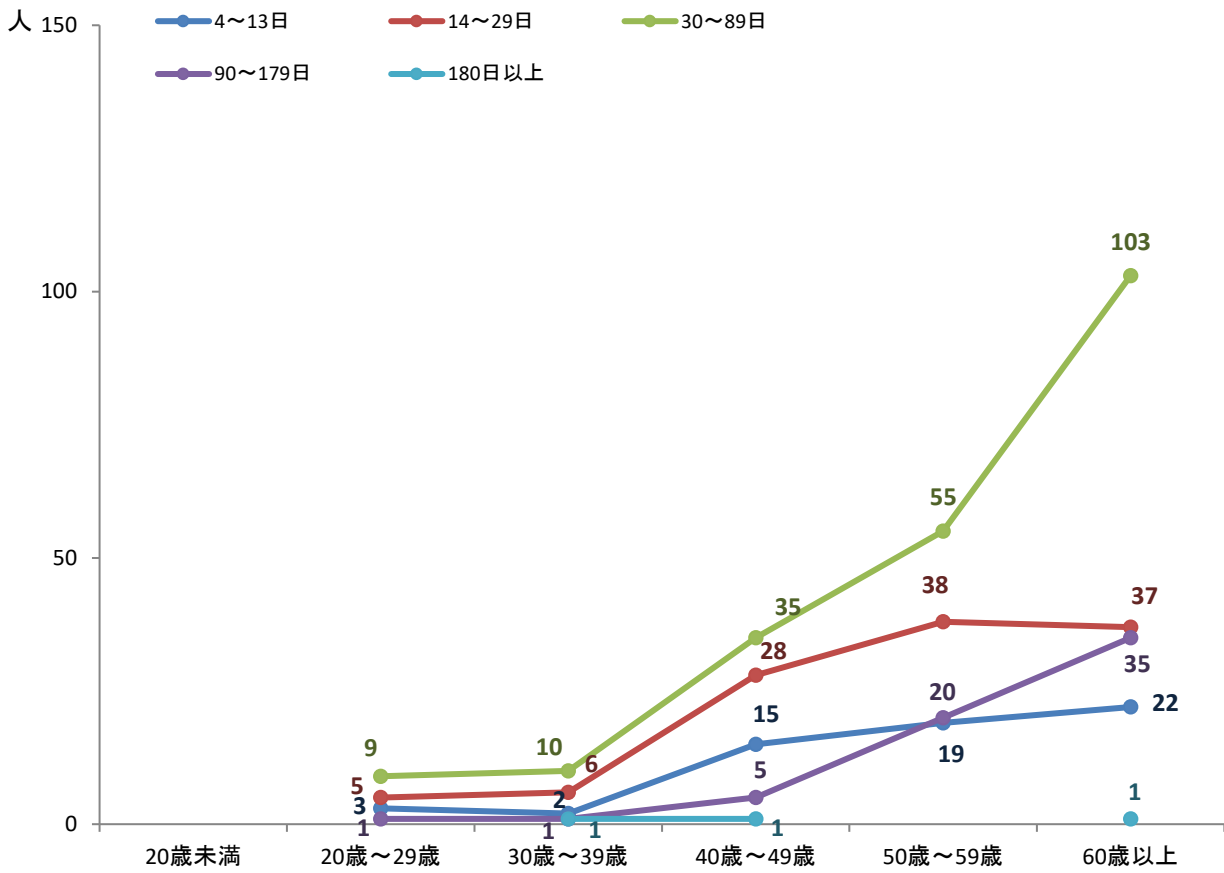
①令和5年の割合



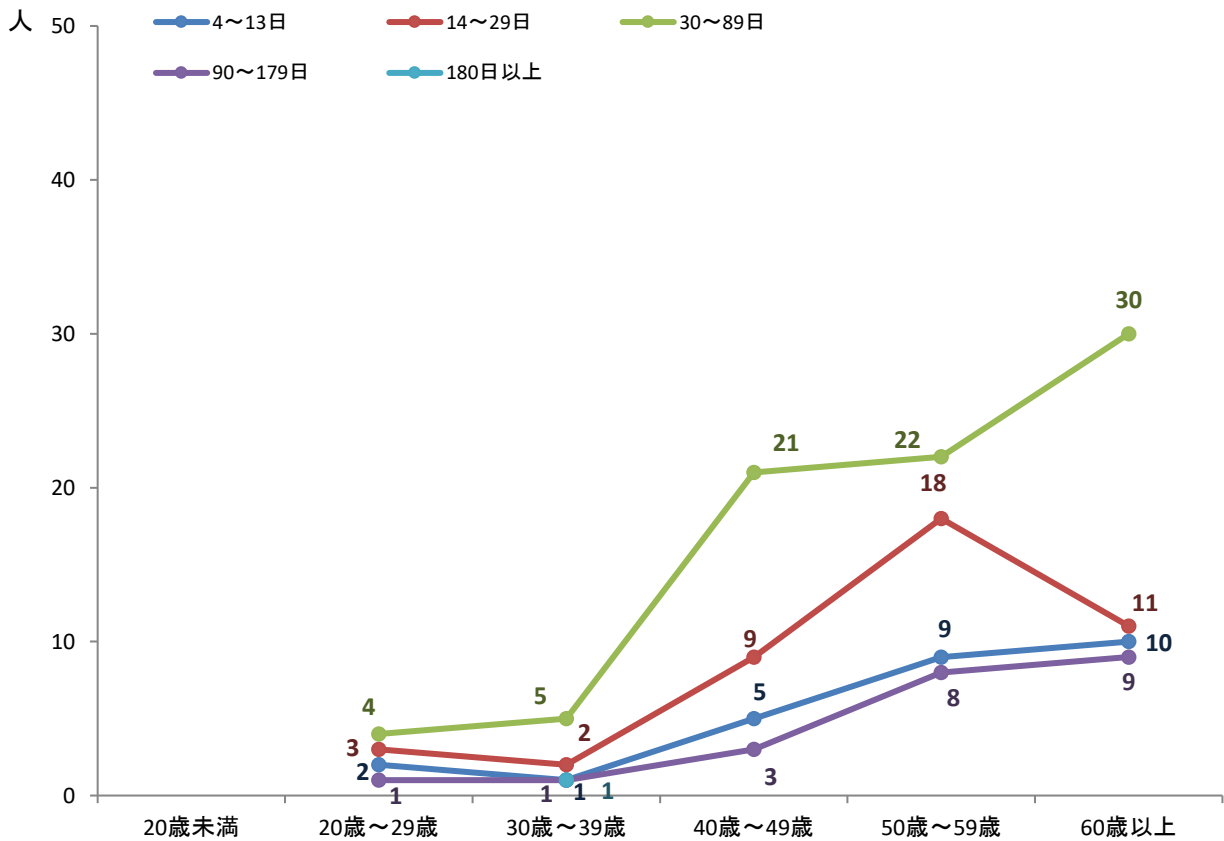
②男女別推移



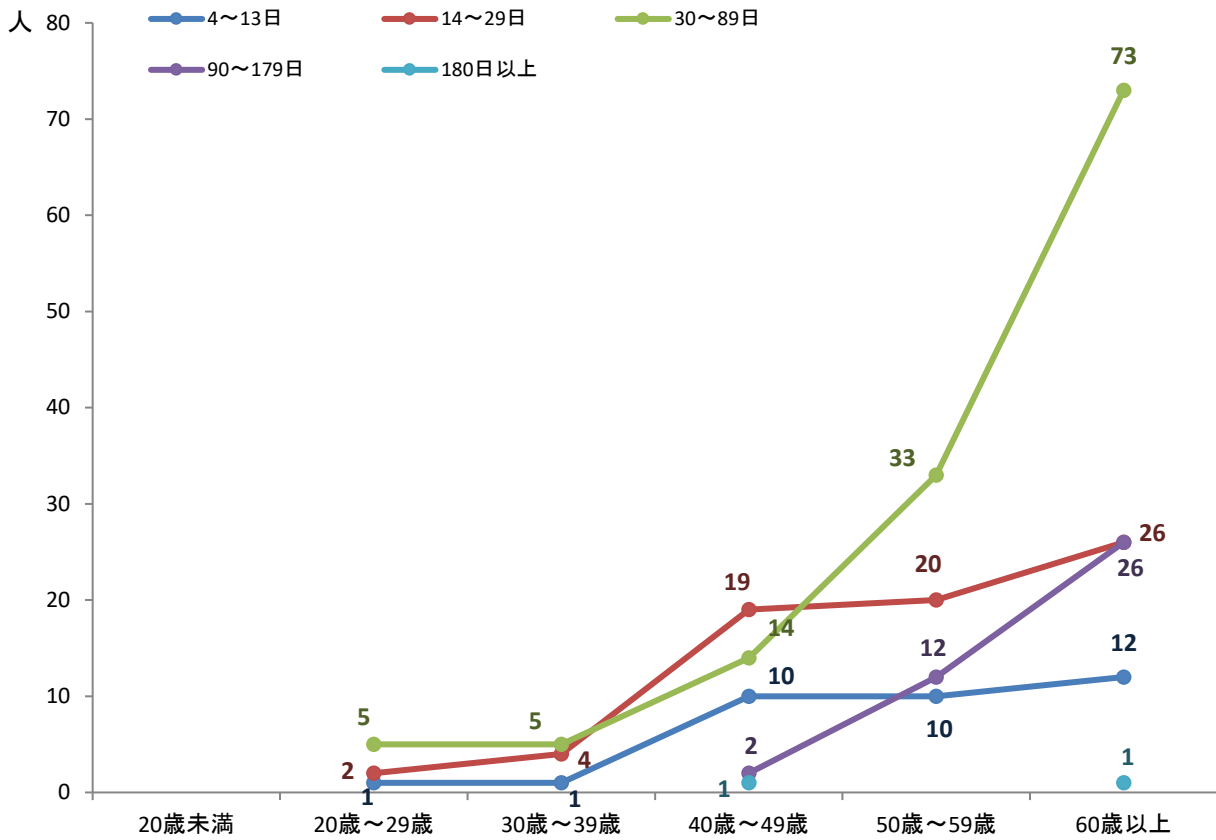
③休業日数別推移(男女計)



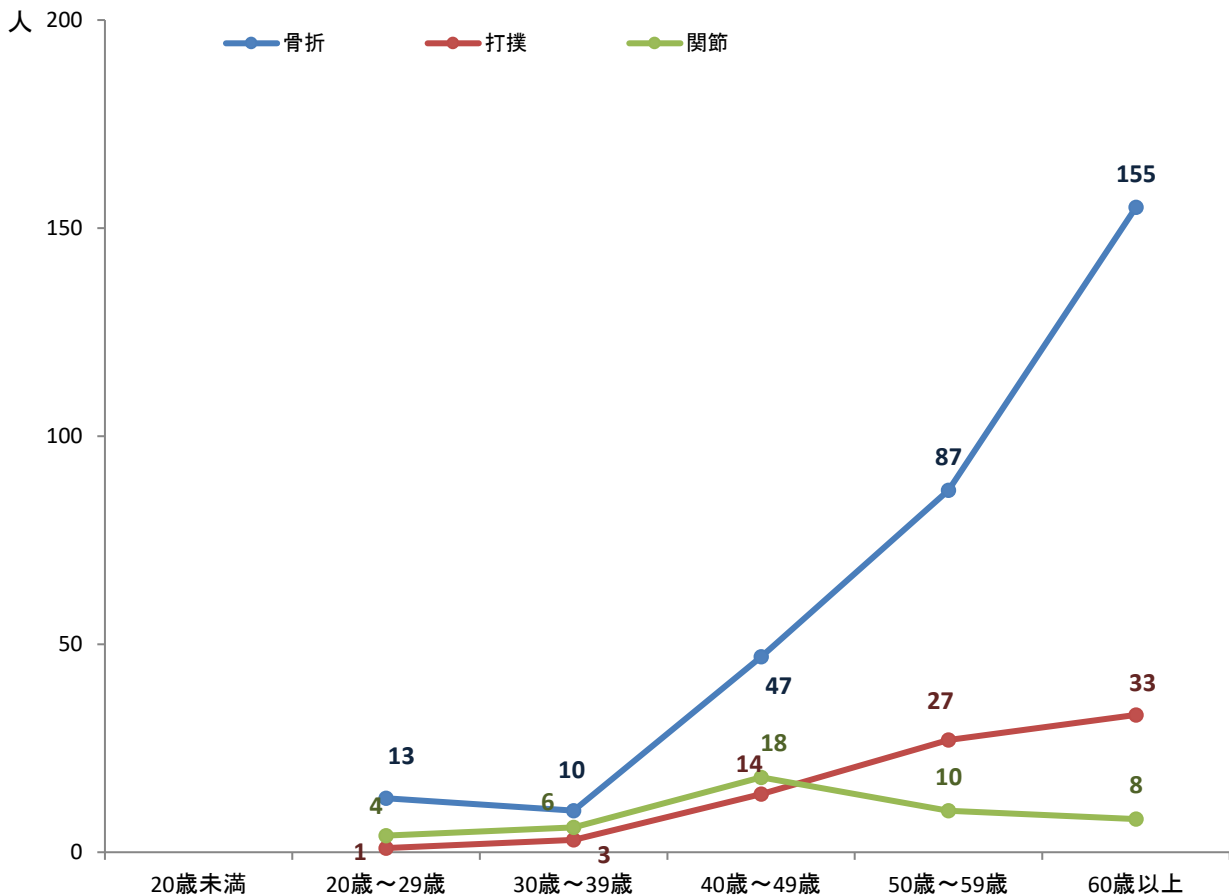
④休業日数別推移(男性)



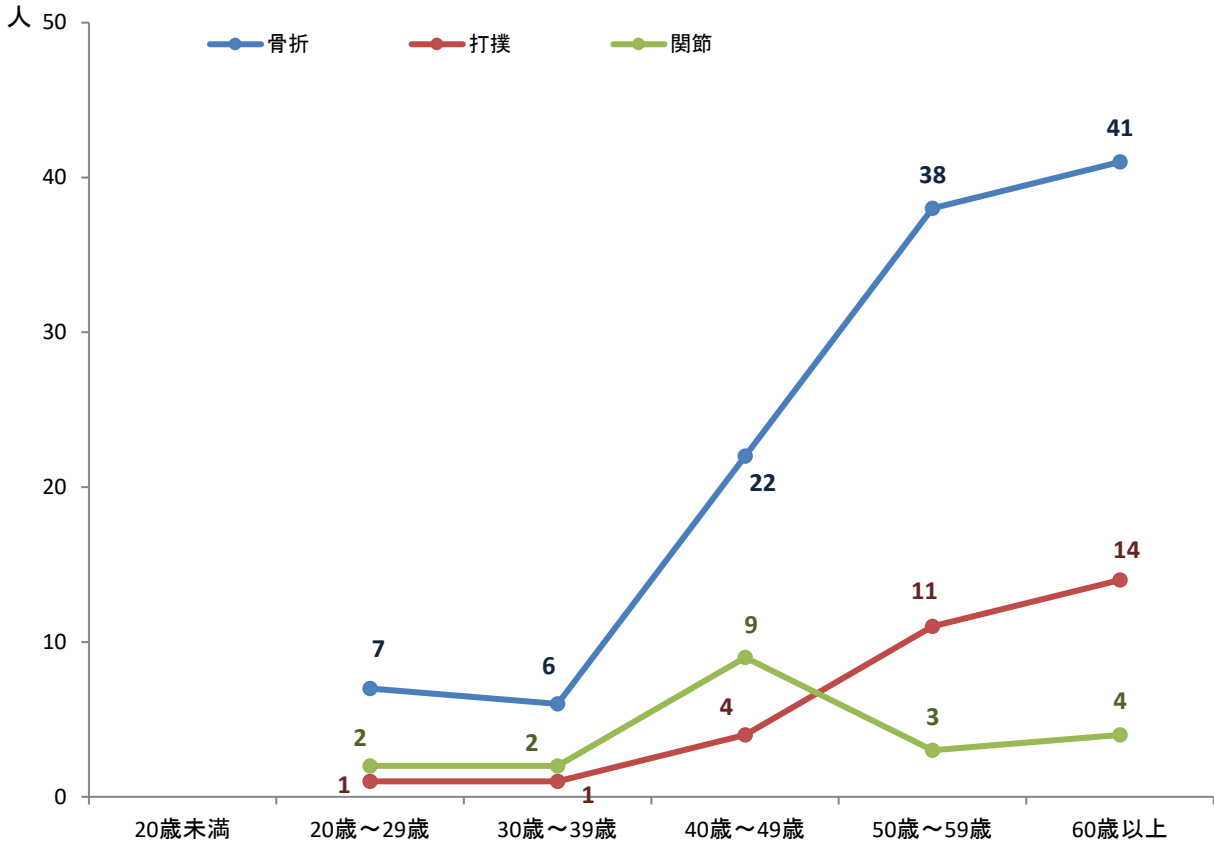
⑤休業日数別推移(女性)



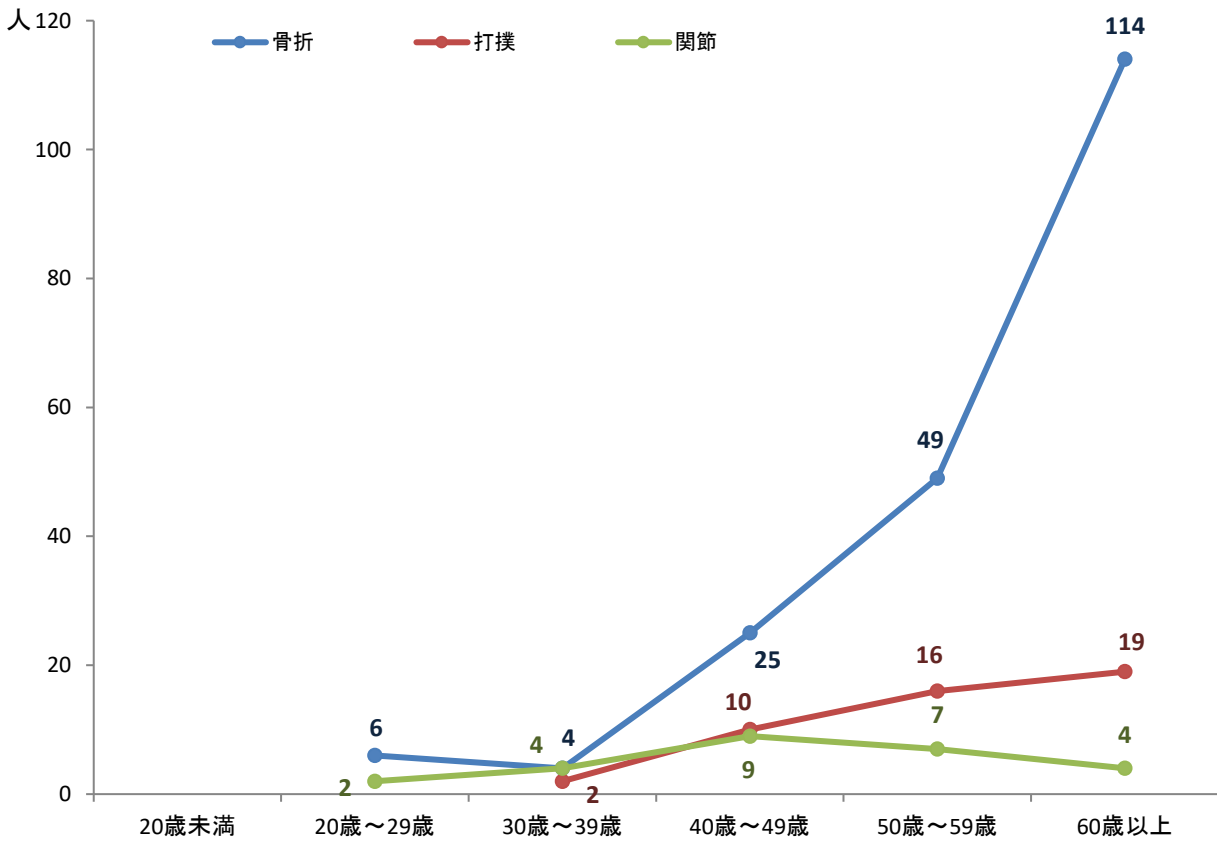
⑥傷病性質別推移(男女計)



⑦傷病性質別推移(男性)

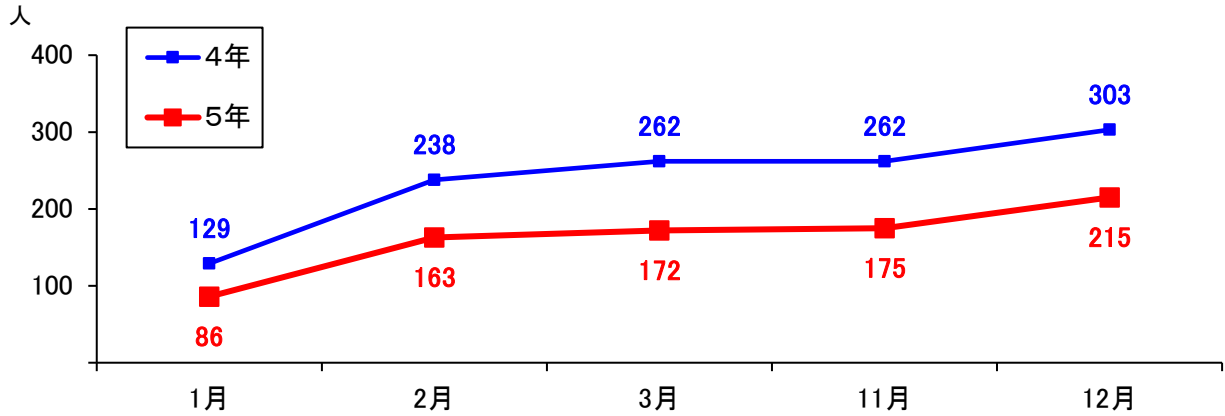


⑧傷病性質別推移(女性)

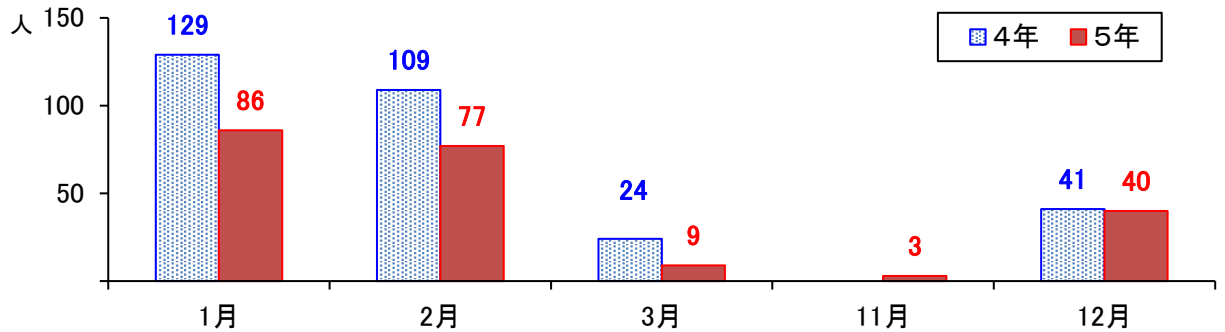


1.1 冬期労働災害発生状況

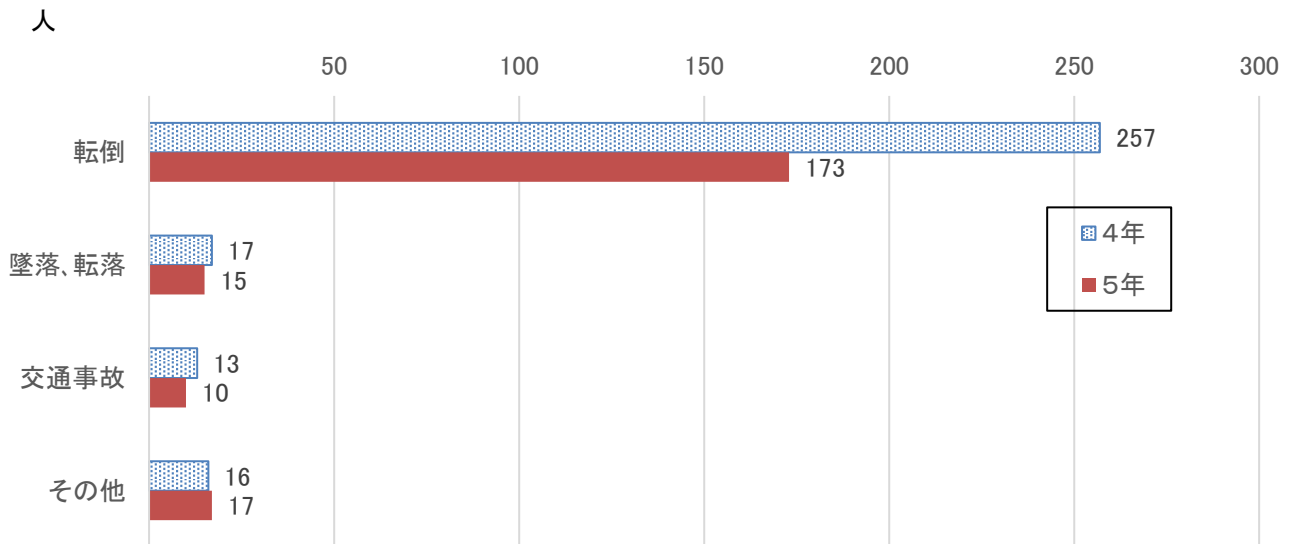
(1) 推移（全産業）



(2) 月別発生状況（全産業）



(3) 事故の型別発生状況（全産業）



注) 「冬期労働災害」とは、降雪、低温、強い季節風等の冬期特有の気象条件による積雪・凍結・寒冷に起因して発生する労働災害をいいます。

12 労働災害発生動向//全数/コロナ・他

(1)労働災害発生動向/全数

年 別 等	青 森 労 働 局		4		5		増 減	
		全 数		全 数		全 数		全 数
全 産 業 合 計		3,380		1,789		- 1,591		- 47.1 %
製 造 業		296		264		- 32		- 10.8 %
建 設 業		427		236		- 191		- 44.7 %
道 路 貨 物 運 送 業		116		119		+ 3		+ 2.6 %
林 業		16		20		+ 4		+ 25.0 %
商 業		309		263		- 46		- 14.9 %
社 会 福 祉 施 設		1,202		344		- 858		- 71.4 %

(2)労働災害発生動向/コロナ・他

年 別 等	青 森 労 働 局		4		5		増 減		コロナを除く 増 減 率
	コ ロ ナ	他	コ ロ ナ	他	コ ロ ナ	他			
全 産 業 合 計	1,925	1,455	373	1,416	- 1,552	- 39		- 2.7 %	
製 造 業	63	233	22	242	- 41	+ 9		+ 3.9 %	
建 設 業	193	234	11	225	- 182	- 9		- 3.8 %	
道 路 貨 物 運 送 業	1	115		119	- 1	+ 4		+ 3.5 %	
林 業		16		20		+ 4		+ 25.0 %	
商 業	21	288	6	257	- 15	- 31		- 10.8 %	
社 会 福 祉 施 設	1,014	188	189	155	- 825	- 33		- 17.6 %	

注1)本動向は、死亡災害及び休業4日以上労働災害の死傷者数を示しています。

注2)業種の内訳は、主なもののみ掲載しています。

注3)「コロナ」は、新型コロナウイルス感染症による労働災害の死傷者数を示しています。

注4)「他」は、新型コロナウイルス感染症以外の労働災害の死傷者数を示しています。

注5)資料出所:労働者死傷病報告

13 死亡災害の概要(令和5年)

番号	発生月 時間帯	業 種	災 害 発 生 状 況	事故の型	起 因 物
1	1月 15時台	製 造 業 [その他の製造業]	クリーニング工場において、大型洗濯機から排出された洗濯物を加圧脱水する脱水機(上下に作動する円筒形の鋼製バスケットに洗濯物が投入され上方から加圧体が降下して脱水する機械)に異常が発生しバスケットの作動が停止したため、下方からバスケット内の目視等を行っていたところ、バスケットが降下し頭部をはさまれた。	はさまれ、 巻き込まれ	その他の 一般動力機械
2	2月 11時台	保 健 衛 生 業 [社会福祉施設]	事業場の出入口付近の除雪を行っていたところ、隣接する建物の屋根から雪が落下し、被災者に激突した。	飛来、落下	その他の 環境等
3	2月 8時台	建 設 業 [土木工事業]	4トンドンプトラックによる土砂の運搬作業において、トラックを運転し道路幅約2.8メートルの土手を走行中、トラックが土手から転落した。	交通事故 (道路)	トラック
4	9月 9時台	製 造 業 [電気・ガス業]	社有車を運転して業務現場に向かう途中、電柱に衝突した。	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、 バイク
5	11月 17時台	農 林 業 [農 業]	農耕車積載用トレーラを移動式クレーンを用いる等して引き起こし、下回り部分の修理作業を行っていたところ、当該トレーラが倒壊し、付近にいた労働者が下敷きとなった。	激突され	移動式 クレーン
6	12月 15時台	建 設 業 [土木工事業]	高速道路において、後方から走行してきたトラックのタイヤが外れ、前方で作業を行っていた労働者に衝突した。	交通事故 (道路)	トラック
7	12月 13時台	清 掃 ・ と 畜 [清掃・と畜業]	堆積したダストをバキューム車で吸引回収していたところ、上部から落ちてきたダストに埋没した。	崩壊、倒壊	その他の 装置、設備

※脳・心臓疾患及び精神障害は除く。